

金沢大学概要

OUTLINE OF KANAZAWA UNIVERSITY

2016

目次

金沢大学概要2016

金沢大学憲章	03	法務研究科	13	学域・学類・研究科等	26
沿革	04	教職実践研究科	13	学生数	28
組織	06	国際基幹教育院	14	入学志願者及び入学状況（学域）	31
プロフィール編		別科	14	卒業者・修了者数（学位授与数）及び進路状況	32
人間社会学域	08	研究域附属研究センター	15	国際交流	34
理工学域	09	附属施設・学内共同教育研究施設等	16	科研費等	41
医薬保健学域	10	その他の施設等	20	附属病院	42
大学院		資料編		附属図書館	43
人間社会環境研究科	10	金沢大学データ ダイジェスト	21	土地・建物及び所在地	44
自然科学研究科	11	役職員	22	建物配置図	46
医薬保健学総合研究科	12	職員数	24	キャンパス位置図	50
先進予防医学研究科	13	財務状況	25	校歌	51

金沢大学憲章



学長 山崎 光悦

人類は長い歴史の中で、創造と破壊を繰り返しながらも自然及び社会の諸現象に対する理解を深め、公共性の高い文化を育んできた。学術研究を預かる大学は、知の創造と人材の育成をもって世代を繋ぎ多様な社会の形成と発展に貢献してきた。そして世界は今や国家の枠を越え、多くの人々が地球規模で協同する時代を迎えている。前身校の歴史を引き継ぎ1949年に設立された金沢大学は、戦後の激動の時代を歩み、我が国と世界の発展に一定の役割を果たしてきたが、国立大学法人となるこの機会に、「社会のための大学」とは何であるかを改めて問い質さねばならない。

金沢大学は、本学の活動が21世紀の時代を切り拓き、世界の平和と人類の持続的な発展に資するとの認識に立ち、「地域と世界に開かれた教育重視の研究大学」の位置付けをもって改革に取り組むこととし、その拠って立つ理念と目標を金沢大学憲章として制定する。

教育

- 金沢大学は、各種教育機関との接続、社会人のリカレント教育、海外からの留学、生涯学習等に配慮して、多様な資質と能力を持った意欲的な学生を受け入れ、学部とそれに接続する大学院において、明確な目標をもった実質的な教育を実施する。
- 金沢大学は、学生の個性と学ぶ権利を尊重し、自学自習を基本とする。また、教育改善のために教員が組織的に取り組むFD活動を推進して、専門知識と課題探求能力、さらには国際感覚と倫理観を有する人間性豊かな人材を育成する。

研究

- 金沢大学は、真理の探究に関わる基礎研究から技術に直結する実践研究までの卓越した知の創造に努め、それらにより新たな学術分野を開拓し、技術移転や産業の創出等を図ることで積極的に社会に還元する。
- 金沢大学は、人文社会、自然科学及び医学の学問領域や、基礎と応用など研究の性格にかかわらず、構成員が学問の自由と健全な競争をもって主体的に研究を進める環境を整備する。また、萌芽的研究や若手研究者の育成に努め、常に新しさに挑戦し個性を引き出す体制を維持する。

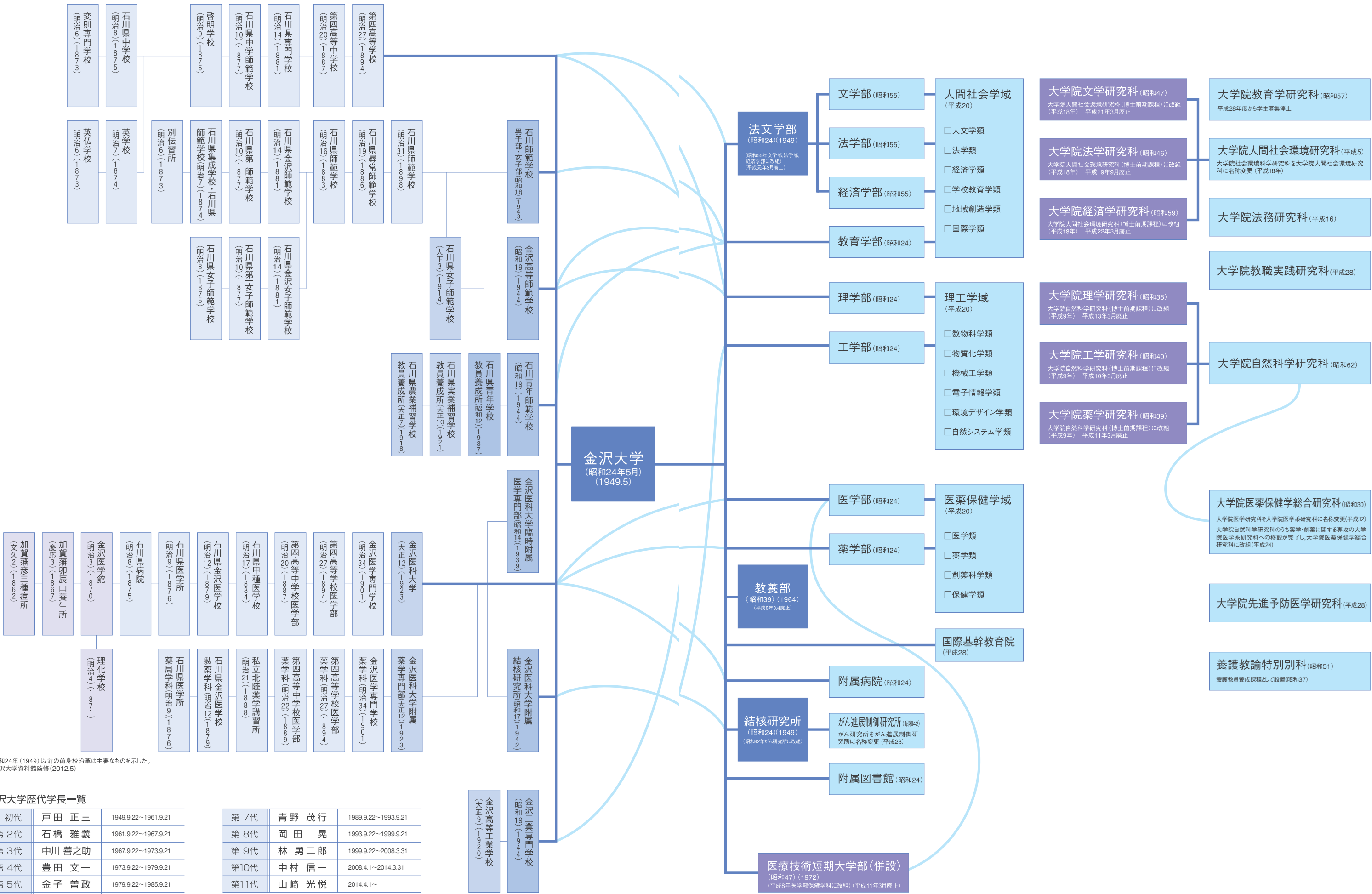
社会貢献

- 金沢大学は、本学の有する資源を活用し、地域における学術文化の発展と教育・医療・福祉等の基盤づくりに貢献し、北陸さらには東アジアにおける知の拠点として、グローバル化の進む世界に向けて情報を発信する。
- 金沢大学は、入学前から卒業後に及ぶ学生教育の拡大、研究成果である知的財産の発掘・管理と社会への積極的な還元、さらには高度先端医療の発展と普及に努め、「地域と世界に開かれた教育重視の研究大学」の責務に応える。

運営

- 金沢大学は、それぞれの部局が専門性と役割に基づき独自性を発揮しつつ、全学的にそれらを有機的に関連させ、自主的・自律的に運営する。また、計画の達成度を評価し、組織・制度の見直しを含めて不断の改革を進める。
- 金沢大学は、国からの交付と自己収入から成る資金を厳格かつ計画的に活用するとともに、人権を尊重し、すべての構成員が職務に専念できる安全な環境を提供する。また、公共に奉仕する国立大学法人としての社会的な説明責任に応える。

沿革

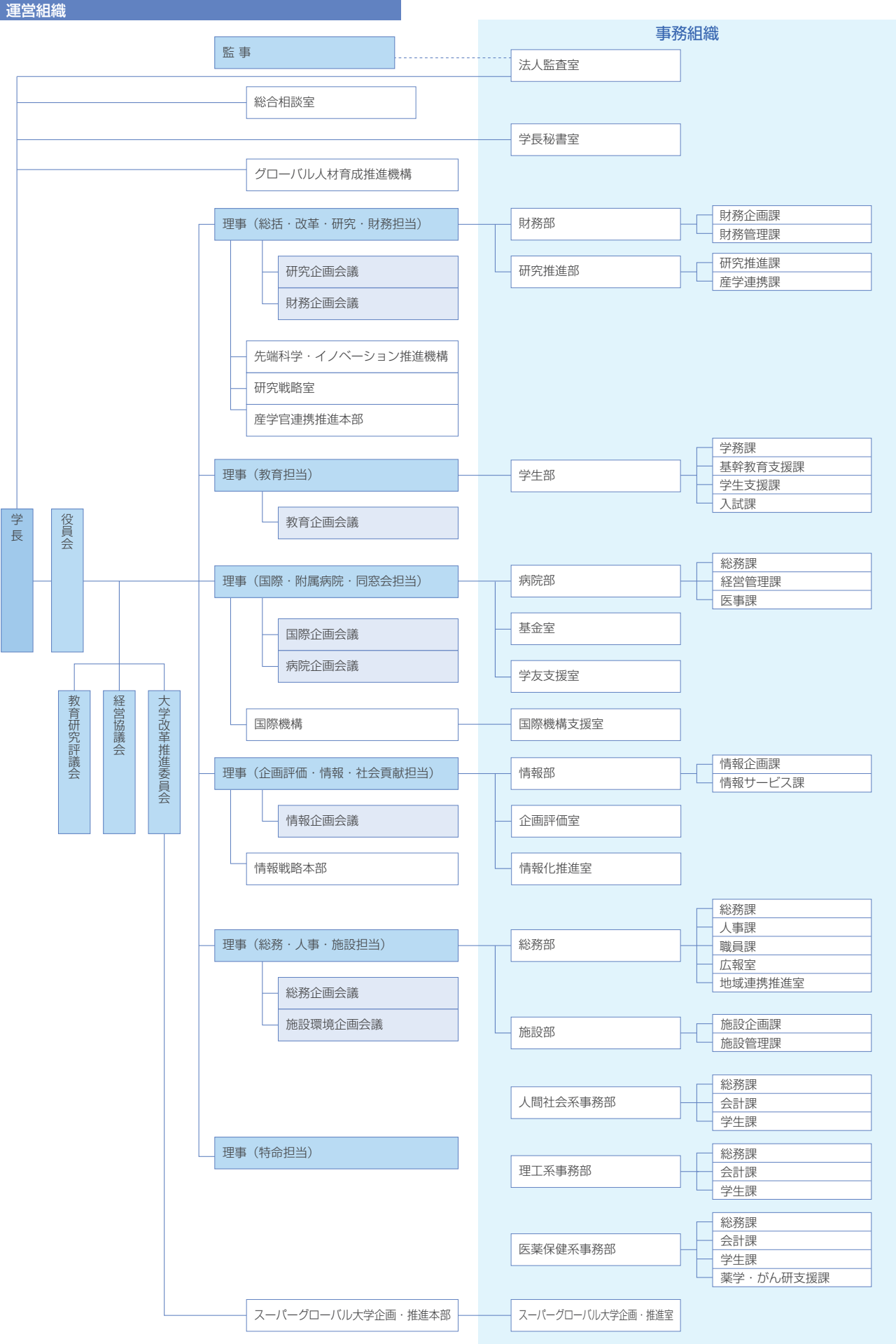


※昭和24年（1949）以前の前身校沿革は主要なものを示した。
金沢大学資料館監修（2012.5）

金沢大学歴代学長一覧		
初代	戸田 正三	1949.9.22～1961.9.21
第2代	石橋 雅義	1961.9.22～1967.9.21
第3代	中川 善之助	1967.9.22～1973.9.21
第4代	豊田 文一	1973.9.22～1979.9.21
第5代	金子 曾政	1979.9.22～1985.9.21
第6代	本陣 良平	1985.9.22～1989.9.21

第7代	青野 茂行	1989.9.22～1993.9.21
第8代	岡田 晃	1993.9.22～1999.9.21
第9代	林 勇二郎	1999.9.22～2008.3.31
第10代	中村 信一	2008.4.1～2014.3.31
第11代	山崎 光悦	2014.4.1～

組織



人文学類

高度専門化・分業化する現代社会だからこそ全体を俯瞰する
総合的・学際的なゼネラリストを養成する

思想・歴史・文化・文学・言語などの研究を通して、人間の行動や思考・創造のあり方を考えます。その研究教育の対象は、心理学からフィールド文化学、人間科学、歴史文化学、言語文化学と多岐にわたっています。
5つのコースと15の専門分野を設け、コース・専門分野の所属は2年進級時に決定します。3つの特別プログラムの設置、副専攻制度の導入など選択の幅を広げ、研究志望や人生設計に対応した教育を行っています。

法学類

よりよい社会実現のために、法的・政策的な観点から
複雑な問題の解決を図り、社会に貢献する

高度に専門化・多様化した現代社会において、複雑に絡み合った問題を解決するためには、社会に対する幅広い関心をベースに自発的かつ意欲的に課題発見に挑むとともに、その解決に必要な知識と能力を身につけることが不可欠です。
「公共法政策コース」、「企業関係法コース」、「総合法学コース」の3つのコースを設け、現実社会のダイナミズムの中で機能する法的な知識や手法の修得を目指します。

経済学類

人々が豊かに幸せに暮らしていくためのあり方を考え、行動する

地域、国家、そして国際社会において複雑化した様々な問題を、①経済理論と経済政策②経営学と情報科学③世界各地の経済社会の比較考察という3つの側面から捉えます。この3つに対応するコースを設け、学生は体系的な教育を少人数制で受けられます。実践的な調査研究能力、政策評価や政策立案に関する知識、情報処理能力が身につくよう、きめ細やかな指導を行い、専門知識を備えた優れた人材を養成します。

学校教育学類

専門的な知識、技能、教える能力を養いながら、子どもたちの内面に寄り添い、
生きる希望と勇気を与える教師の育成を目指す

小学校、中学校、特別支援学校などの教師を組織的、計画的に養成するとともに、学校現場で生じている様々な課題に的確に対応できる能力を身につけます。
子どもたちに学ぶことの意味と喜びを伝え、豊かな世界観を育てていくためには、専門的な知識や技能とともに、子どもを理解して子どもの成長を支援する能力も不可欠です。このような実践的指導力を持った教師を育成するため、実習的な授業科目や学校現場での教育実習などに重きを置いた教育を行います。

地域創造学類

地域創造学を核とする新しい知的分野の創出のもと、
地域が直面する課題に果敢に挑戦する

地域に暮らす一人ひとりの幸福を探究する最先端の研究領域「地域創造学」の学習と実践を通じて、次代の地域づくりリーダーの養成を目指します。
学類共通科目を履修した後、2年次から各コースで専門テーマを学びます。演習や実習、論文指導のきめ細かな少人数教育を基本に、現場での実習教育を重視しています。

国際学類

国際社会への深い洞察力と豊かなコミュニケーション力で、
グローバル化する社会で活躍できる国際人を目指す

グローバル化が進んだ21世紀に、国際社会および日本への深い洞察力を持ち、異文化とのくしなやかな共生〉を実現できる真の国際人を育成することを目的とし、異文化への関心と探究心、高度なコミュニケーション能力を持ち、将来国際的業務で活躍できる人材を育てます。
日本と国際社会を多面的・総合的に学び、理解を深めるために、「国際社会」「日本・日本語教育」「アジア」「米英」「ヨーロッパ」の5つのコースを設けています。

数学、物理学、計算科学の「叡智」を駆使して森羅万象の根源的探究に挑み、
科学的な思考力と創造力を養う

自然科学の基礎をなす数学と物理学は、コンピュータの進歩により誕生した計算科学によって新たな時代を迎え、あまりにも複雑で扱えなかった自然現象の解明や理論の検証が可能となりつつあります。数物科学類では、この3つの学問を有機的に総合した教育と研究を行い、これらの学問の発展や次世代への継承に寄与できる人材、また社会の様々な分野において、科学が培った論理的思考力と創造力を生かして活躍する人材を育てます。

原子・分子から生命・地球環境・宇宙まで
—化学の探求を通じて科学的探究心と創造的能力を育む

化学は自然界で起こる様々な現象の原子・分子レベルでの理解から、21世紀に必要な環境に適合した新しい機能性物質の創製、さらに様々な日常の生活を支える化学製品の開発と製造過程に至るまでの幅広い領域を含んでいます。化学を通じて人類が自然と共生しながら持続的に豊かに生きるための科学・科学技術・文化の発展と充実に貢献することができるとともに、社会の様々な分野でリーダーとして活躍できる人材を育成します。

自然、人間社会との調和を図りながら、モノづくり工学で
人類に貢献するエンジニア、研究者を目指す

高度複雑化する現代産業社会、イノベーション（技術革新）の牽引役としての機械工学の重要性はますます高まっています。エネルギー、環境と経済をともに発展させる持続型社会の構築のため、自然や人間・社会との調和を図りつつ、モノづくり工学の持つ社会的使命と責任を果たす機械技術者・研究者の育成を目指します。

豊かで快適な未来社会に向けて、最先端のエネルギー、
エレクトロニクス、コンピュータ科学およびコンピュータ利用技術に挑む

クリーンでエコなより良い生活環境実現のため必要不可欠となるエネルギー、エレクトロニクスおよびコンピュータ技術は相互に強く関連し、現代社会の中で極めて大きな役割を果たしています。これらの分野を体系的に学ぶことによって、未来志向の創造力を養い、今後の高度情報化社会にグローバルな視点から貢献する技術者、研究者の育成を目指します。

地球環境保全から“まちづくり”まで
—環境と共生する社会基盤づくりのエキスパートを育てる

私たちの暮らしには、安全・安心な生活環境が不可欠です。道路・トンネル・橋・鉄道・港湾などの社会資本・社会基盤、魅力的な都市や街、そして地球環境全体まで、環境デザインの対象は無限です。自然と調和した国土の創造、持続的発展の可能な都市システムや安全・安心な社会基盤の整備のための様々な理論や技術を修得するとともに、人文系の分野にも精通し、まちづくりから地球環境全体までの環境デザインができる人材を育成します。

生物・人間・物質・地球で形成される自然システムの
探求を通じて、創造性あふれる科学者、技術者を目指す

生物・人間・物質・地球で形成される「自然システム」の中で絶えず影響し合う生命・物質・エネルギーをあらゆるスケールの空間・時間での科学的事象について学びます。基礎科学を重視し、その結果を人々の豊かな生活の実現に応用するための教育を行い、広い視野に立って生物学、物質工学、バイオ工学、環境科学、地球科学の観点から、自然システムを理解する研究者、技術者および教育者の育成を目指します。

数物科学類

物質化学類

機械工学類

電子情報学類

環境デザイン学類

自然システム学類

医学類
(6年制)

最先端の知識と技術、そして何よりも人間とのふれあいを通じて、
人間性豊かで社会に貢献できる医師・医学者を育てる

医学に対する興味、幅広い教養、豊かな感性と人間性への深い洞察力を持つとともに、コミュニケーション能力を備え、患者中心の全人的医療ができる医師・医学者を育てることを目標としています。

医師・医学者に求められる基本的な医学知識を学びながら、医学研究や診療の現場を積極的に体験し、人間性についての理解と共感を深めていきます。よりよい医療、健康、福祉の推進を通じて社会に貢献できる医師・医学者を、6年間にわたる教育により育成します。

薬学類
(6年制)
創薬科学類
(4年制)

薬から幅広く医療を見渡し、薬の向こうに
あたたかな“命”を感じられる薬剤師・研究者を育成する

「くすり」は病気で苦しむ多くの人々を同時に助けることができます。そのためには、「くすり」と「人」に関する地道な基礎薬学・生命科学研究や発展的な応用研究、より臨床に近い医療薬学研究が必要不可欠です。先端的研究を通じて、「くすり」に関わる多様な人材を養成します。

薬剤師養成を主目的とした「薬学類」（6年制）と、創薬研究を担う人材養成を主目的とした「創薬科学類」（4年制）を併置しています。入学試験は一括で実施され、3年前期までは共通カリキュラムで基礎薬学を学び、その後自分に合った学類を選ぶ経過選択型的方式をとっています。

保健学類

人間の誕生から死までを科学の目で捉え、
自分、家族、友達、患者の健康な生活をサポートする

人間としての尊厳を維持し、健康で幸福な生活の実現に貢献することを目指す学問である保健学の基礎技術・知識を学び究めるとともに、人類の保健・医療・福祉の発展に寄与する「保健学のプロ」（卒業時に国家試験受験資格を取得）を育成します。

保健・医療・福祉の科学的知識と理論、技術の修得を通じて、医療制度の変化、高度先進医療の導入、健康観の変化・社会のニーズ、動向など多くの課題に応えられる高度な専門的人材を育成します。

人間社会環境研究科

人文学専攻（博士前期課程）

6つの学際総合型プログラムと17の専門深化型プログラムがあり、学生は入学試験の際にこの中から一つを選択して履修します。教員は人間科学、歴史学、言語・文学、文化資源学の4コースにそれぞれ所属し、関連プログラムの教育にあたります。取得できる学位は文学または学術の各修士号です。

法学・政治学専攻（博士前期課程）

基礎法学、公法学・社会法学、民事法学、政治学の4つのプログラムから構成され、学生はそのいずれかを選んで履修します。取得できる学位は基礎法学、公法学・社会法学、民事法学プログラムの修了生は法学、政治学プログラム修了生は政治学で、またいずれのプログラムも学術の各修士号が取得できます。

経済学専攻（博士前期課程）

経済理論・政策、国際社会・経済、経営情報の3コースがあり、学生はそのいずれかを選択して履修します。いずれのコースを修了しても、経済学、経営学または学術の修士号を取得できます。

人間社会環境研究科

地域創造学専攻（博士前期課程）

1コースからなり、高度な地域創造力を備えた専門職業人の育成を目指し、課題型インターンシップなどを用意しています。取得できる学位は地域創造学または学術の各修士号です。

国際学専攻（博士前期課程）

国際関係・地域研究と日本語教育・日本文化研究の2コースからなり、前者には授業がすべて英語で行われるInternational Studies Programもあります。両コースとも取得できる学位は国際学または学術の各修士号です。

人間社会環境学専攻（博士後期課程）

人文学、法学・政治学、社会経済学の3コースで構成され、学生はそのいずれかに所属して履修します。取得できる学位は、社会環境学、文学、法学、政治学、経済学、学術のいずれかの博士号です。

文化資源マネージャー養成プログラム（博士課程教育リーディングプログラム）

人間社会環境研究科に設置された5年一貫の特別プログラムで、人類の有形無形の多彩な文化遺産を未来社会に向けた人類共有の資源ととらえ、その有効な保存・継承・活用策を見だし管理運営に携われるような専門家である“文化資源マネージャー”の養成を目指します。各学年は4名の日本人学生と、4校のアジア協定校から推薦された4名の留学生からなります。文化資源学研究の基礎となる考古学、美術史、文化人類学などの基礎と方法論を学んだ後、それぞれの課題と研究対象を設定して調査を行い、学位論文の執筆につなげます。

数物科学専攻（博士前期課程・博士後期課程）

広い理学研究の中にあって、基礎科学としての特質に重点を置きつつ、総合的な視点から数学・物理学・計算科学の教育研究を行っています。

物質化学専攻（博士前期課程・博士後期課程）

自然界のさまざまな現象を物質の変化という観点からとらえ、自然と調和した豊かな社会を実現するために、化学が関係する広範な分野において、自ら課題を見出し、先導的研究を実施できる高度な人材（研究者・技術者）の育成を行っています。

機械科学専攻（博士前期課程・博士後期課程）

自然と人間との調和を考慮した機械科学について、実践的でかつ幅広い教育研究（自然との適合、効率的な資源やエネルギーの利用、快適で安全、秩序ある社会の発展に貢献する教育研究）を行っています。

電子情報科学専攻（博士前期課程・博士後期課程）

高速・大容量かつ快適な高度情報ネットワーク社会の実現に向けて、革新的な技術開発を行っています。電気工学、電子工学、通信工学、情報工学の分野について国際水準の教育を系統的に行うとともに、これらの分野を連携強化した新しい技術を創成します。

環境デザイン学専攻（博士前期課程・博士後期課程）

自然と調和した社会・環境基盤の創造を志向し、持続可能かつ安全で快適な国土づくり・都市づくりの要となる社会基盤を構築する責務を担うため、調査・研究、計画、設計・施工・維持管理、さらには廃棄物の処理・再生・更新・廃棄に渡る環境デザインの幅広い局面において必要とされる、高い専門性と学際性を備えた技術・工学について、教育研究を行っています。

自然科学研究科

自然科学研究科

自然システム学専攻（博士前期課程・博士後期課程）

自然システム学専攻は、生物学、バイオ工学、化学工学および地球環境学が融合してできた、まさに理工の融合領域に挑戦する新たな専攻です。専攻の教育を通じて、自然科学の分野で、グローバル感覚、創造力、倫理観の高い研究者・技術者・教育者を育成しています。

医科学専攻（修士課程）

生命科学，基礎医学および臨床医学を体系的・集中的に学ぶとともに，指導教員の研究指導のもとで医学に関連する実験科学を学びます。医学分野での研究者並びに医療・産業分野の専門的な職業人として活躍しうる医学的資質を身に付けた人材を養成することを目的とし，医学科以外の文系・理系を問わない多様な学問的背景を持つ方を受け入れています。

医学専攻（医学博士課程）

医学専攻は，これまでの脳医科学，がん医科学，循環医科学，環境医科学の4専攻の実績をもとに，疾病に対する医学と医療（治療）を主眼として，専攻の垣根を取り払い，基礎・臨床の融合的・発展的な教育研究を一層推進するため，4専攻を1つの専攻に統合して作られました。幅広い分野における医学的知見を持ち，疾病機構や病態の解明に必要な能力と，その基盤となる学識を身につけ，疾病に罹患した患者に対し，その疾病の迅速かつ的確な診断や，患者本人に負担の少ない効果的かつ良質な治療を開発できる，あるいは提供できる者を養成します。

創薬科学専攻（博士前期課程・博士後期課程）

博士前期課程では，創薬科学分野の基礎から応用に関する幅広い知識と研究能力を兼ね備え，国際的視野を有する人材の養成を目的とします。医薬品をはじめとする種々の生理活性物質を化学的，物理学的又は生物学的側面からとらえた教育・基礎研究を通して，創薬を含む生命科学全般に貢献できる優れた人材を養成します。博士後期課程では，薬学を中核に据えた学問分野（薬学・医学・保健学関連）に関する最先端の知識や技能と高い研究能力の醸成を目的とします。創薬科学における先進的かつ発展的な教育・研究を通して，豊かな創造力，高い見識，卓越した研究企画能力，強いリーダーシップ，さらに国際的視野で活躍できる能力を備えた，自立した真の研究者を養成します。

薬学専攻（博士課程）

薬学を中核に据えた医療系学問分野における最先端の知識，医療人としての実践的な研究能力，および高い倫理観と国際的視野の醸成を目的とします。薬学・医学・保健学という三つの医療系学問分野が横断的に連携した本研究科に特有の学際的環境の中で，基礎薬学から医療薬学にわたる幅広い分野での教育を通して，高い専門性を有する薬学教育・薬学研究のリーダー，自然科学の素養と学術的に優れた研究能力を兼ね備えた医療人を養成します。

保健学専攻（博士前期課程・博士後期課程）

看護科学，医療科学，リハビリテーション科学の基盤的研究を究めるとともに，保健学の総合的研究および学際的研究を推進し，21世紀の保健学を先導する知の創成と新しい学問領域の形成を行います。保健・医療・福祉の高度専門化の社会的ニーズに対応するため，博士前期課程では，豊かで幅広い学識と高度な問題解決型思考能力を有する指導の高度専門職業人を，また，博士後期課程では，高度な研究能力を持つ国際的研究者・教育者を育成し，保健学の発展と人類の健康と福祉の向上に寄与します。

先進予防医学研究科

先進予防医学共同専攻

先進予防医学共同専攻は，金沢大学大学院先進予防医学研究科と千葉大学大学院医学薬学府，長崎大学大学院医歯薬学総合研究科がそれぞれの強みを組み合わせ，共同で同一のカリキュラムにより教育を行う，4年制の医学博士課程の共同大学院です。従来の衛生学・公衆衛生学分野を基盤とし，新たな方法論として，オミクス情報からマクロ環境情報まで個人や環境の特性を網羅的に分析・評価し，教育研究分野や医療分野等で，0次予防から3次予防までを包括した「個別化予防」を実践できる人材の養成を目的としています。

法務専攻

2004年に設立された法曹養成のための専門職大学院です。標準コース（修業年限3年）と短縮コース（同2年）があります。種々の法的紛争を適切かつ迅速に解決でき，紛争予防のための調整能力も備えた法律家を養成します。少人数教育と反復的学習によって法律の基本を学んだ後，弁護士のもとで実務を体験させ，その経験を生かす循環型学習を実施し，知識だけでなく社会や個人に対する深い洞察力を養います。修了者には法務博士（専門職）の学位が授与され，司法試験の受験資格が与えられます。司法試験合格者の多くは，北陸三県を中心に弁護士として活躍しています。

教職実践高度化専攻

2016年4月に発足した，高度な実践力を備えた教員を養成するための専門職大学院です。新たな学びをデザインし実践できる授業力に優れた教員を育成する「学習デザインコース」と，学校の組織運営に優れた指導力を発揮できる中核教員を育成する「学校マネジメントコース」があります。現職教員と学士課程卒の教員志望者が共同して学ぶと同時に，研究者教員と実務家教員がすべての授業や研究指導において共同で担当し，多様な視点から学習・研究を推進します。また，県教育委員会などと連携し，1年間に及ぶ学校実習など，理論と実践を往還させながら，教育課題に的確・創造的に対処する力を備えた教員を養成します。

大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学連合小児発達学研究科に参加（小児発達学専攻 金沢校）

子どものこころに携わるさまざまな専門職の人たちを連携・統合できる高度な指導者と医学医療，心理学，教育学の基盤に立って，子どものこころと脳発達とその障害に関わる研究者の養成を目指す博士後期課程3年のみの大学院です。金沢校では，子どものこころの背後にある社会認識問題の本質を探るため，分子生物学，脳画像，社会心理学を融合した教育研究を実施します。

法務研究科

教職実践研究科

国際基幹教育院

基幹教育を強固に推進し、 本学 の教育 全体の高度化と国際化を牽引する

国際基幹教育院は、3研究域の協力の下に共通教育機構、外国語教育研究センターおよび大学教育開発・支援センターが統合され、2016年4月に新たに設立されました。設立の目的は、世界で活躍する「金沢大学ブランド」人材育成のための本学独自の教育方針である「金沢大学〈グローバル〉スタンダード（Kanazawa University “Global” Standard：KUGS）」に基づき、学士課程から大学院課程における教育の基盤をなす教養的教育（基幹教育）を強固に推進することによって、本学 の教育 全体の高度化と国際化を牽引することです。全ての新生に対して「導入科目」を学類と協力して開講し、大学での生活および学修に対する導入教育を実施します。本院は、本学 の教育 全体の高度化と国際化を牽引することを目的として設置され、次の5つの部門が相互に連携・協力して任務を遂行します。

体制図

教育 科目 提供	GS教育部門	KUGSを基軸とした学士課程教育の基盤をなす授業科目であるGlobal Standard科目の開発と提供を行います。学域および大学院における基幹教育（学域GS科目および大学院GS科目）にも貢献します。
	外国語教育部門	Global Standard 言語科目および初習言語に関する教育プログラムの企画と運営を担い、また、カリキュラム開発や教材作成、外国語教授法の研究も行っています。さらに、課外で外国語を学ぶ意欲のある学生、特に海外留学を志す学生を支援しています。
	国際教育部門	国際機構の協力を得て留学生に対する初習教育および留学生のための教育プログラム等の企画および実施を行います。
	リメディアル・基礎科目教育部門	自然科学系の基礎科目を企画・運営します。
教育 支援	高等教育開発・支援部門	教育方法、教育システム、評価システムおよび学生支援体制の研究開発を行い、教育の充実・発展を図ることを目的としています。能動的学習支援および教学IRに基づく教育質保証をその活動の中心とし、金沢大学憲章に謳われている、学生の自学自習、教員の組織的FD活動の推進を支援しています。
教授法の 研究等	スキルアップセンター	全学の教育スキルの向上に係る支援と、そのためのティーチング・アシスタント等の諸制度を企画、運用します。

養護教諭特別別科

実践的な演習で養護教諭を養成

文部科学大臣より指定された養護教諭の養成機関です。看護師免許取得または取得見込の者を対象とし、取得した看護師の免許科目を基盤に、養護教諭1種免許状取得を目指す1年制の課程です。免許取得に必要な科目「養護に関する科目」では、模擬保健室を活用した教育現場に直結させた実践的な演習を、「教職に関する科目」では、教育の本質に関する講義とともに、附属学校等での養護実習を重視しています。附属学校、協力校における健康診断演習、保健室ボランティア活動などの実践を充実させ、学内の専任教員と学外の養護教育に携わる専門家により養護教諭を育成しています。

〈人間社会研究域〉
地域政策研究センター

国際文化資源学
研究センター

〈理工研究域〉
バイオAFM先端
研究センター

サステナブルエネルギー
研究センター

〈医薬保健研究域〉
健康増進科学センター

脳・肝インターフェース
メディシン研究センター

地域の発展・再生のための政策研究を推進する

現代のグローバル経済の下、地域の経済社会が困難に直面している諸課題に対し、地方自治体や企業、地域の諸団体、大学内外の諸機関と連携しながら、人文・社会科学の専門性を活かして解決策を提示します。地域再生の道筋に向けた政策科学を確立するために、各種研究プログラムや共同研究体制を組織しています。人口の減少・過疎化によって生活条件が困難に陥っている地域における社会システムの再構築や、地域資源を活かした新たな事業創出のマネジメントを研究しています。

世界各地の「文化資源」を保護・活用

経済開発やグローバリゼーションの進展で世界各地において有形・無形の文化遺産が、消滅の危機に瀕しています。この文化遺産を、新たな価値を創造するための「文化資源」ととらえなおし、総合的・多角的な研究と、保護・活用法の開発を行っています。形態文化資源、伝承文化資源、文化資源情報の3部門があり、それぞれ、有形文化資源に関する調査・研究、無形文化資源に関する調査・研究、文化資源情報の収集・社会還元を使命としています。研究のフィールドは、ヨルダン、グアテマラ、インド、中国など多岐にわたり、海外の研究機関と共同で事業を行う国際共同研究プロジェクトも積極的に展開しています。

革新的AFM技術で新しいバイオ研究を開拓・推進

革新的な原子間力顕微鏡（AFM）技術の開発とその技術による新しい生命科学の開拓を推進するために設立された本センターは、高速AFM研究開発、超解像液中AFM研究開発、イメージング研究、分子・細胞研究の4部門から構成される世界トップの研究拠点です。これまでに開発した高速AFMはタンパク質分子や細胞で起こる動的な生命現象を高解像で直接可視化することを初めて可能にしました。その結果、他の手法では困難な重要な発見が次々と生まれています。また、液中周波数変調AFMは分子の超解像イメージングや水和層の3次元検出にも成功しています。本センターの目標に向け、物理、工学、生物系の研究者が連携し、また、国内外の外部機関と協力し研究を推進しています。

持続可能エネルギーに関わる研究開発を推進する

有機薄膜太陽電池、自然エネルギー活用、炭素循環技術、エネルギー・環境材料、バイオマス利用の5部門から構成されています。安全で、持続可能なエネルギー生産技術による循環型社会を構築するための拠点として、国・地域を問わずどこにでも存在する風力や太陽光などの再生可能エネルギー、北陸の豊かな自然が生み出すバイオマスなどの廃棄エネルギーをもとに、地域で独自に生産しその地域で消費する、いわゆる“地産地消型”のエネルギーの効率の変換・創成・再資源化などの研究を推進しています。

「肌の健康に関する研究」を 中心的 研究課題として、 先端的研究を行う

疾病の予防を超えた健康を増進する新しい学問を確立し、国民の健康寿命の延伸に寄与することを目的に、2009年度に設置され、2013年度に「肌の健康に関する研究」を中心的課題として先端的研究を行うアドバンストスキンケア学部門とそれまでの地域連携活動を継承する社会連携部門に改組しました。アドバンストスキンケア学部門では、日常生活で行う整容目的のスキンケアを科学の対象ととらえ、皮膚の健康度の低下のメカニズム解明、非侵襲的モニタリング法をもとに多様な原因で起こる皮膚脆弱を有する対象者の皮膚の損傷予防・治癒・苦痛緩和・well-being向上を目指したスキンケア技術の開発と臨床応用を目指します。

脳と肝臓に重点を置き、 22世紀に向けた医療開拓への基盤作りを目指す

人類は栄養不良や感染症などの課題を次々に克服してきましたが、21世紀は過栄養や高齢化に伴う疾病の制御が課題となっています。本センターの目的は、分野を超えた学際的な視点から病因・病態を解明し、22世紀に向けた医療開拓への基盤作りをすることにあります。成人期・老年期疾患の制御という医学課題を解決するため、人体の高次機能を司る脳と、栄養代謝など代謝の中心臓器である肝臓に重点をおき、それぞれ優れた独立研究を行うだけでなく、臓器間の密接な関係についても研究しています。

研究域附属研究センター

先進予防医学 研究センター

0次予防から3次予防までを包括した「個別化予防」の研究を推進

教育及び研究の両面において、個人や環境の特性を網羅的に分析・評価し、0次予防から3次予防までを包括した「個別化予防」を実践するための研究面を推進するため、先進予防医学研究センターを設置しました。
本学だけでなく、千葉大学、長崎大学にそれぞれ先進予防医学研究センターを設置し、3大学での共同研究や地域住民のコホート研究などを行っています。

附属施設・学内共同教育研究施設等

グローバル人材 育成推進機構 (O-GHRD)

本学の教育・研究・国際戦略を踏まえ、グローバルに活躍できる人材を育成するため、全学を挙げた人材育成プログラムの構築を図ることを目的に、学長直轄の教育特区機構としてグローバル人材育成推進機構を設置しました。本機構は、プログラムを策定するための「プログラム検討委員会」、プログラムを具体的に実施するための「特区教育センター」で構成されています。

新学術創成 研究機構 (InFiniti)

本学に優位性のある研究のさらなる強化、学問分野融合型研究の一層の進展および国際頭脳循環の継続的拡充を一体的に推し進めることにより、革新的な研究成果を生み出し、新しい学問分野・学問領域の創成につなげることを目的とし、2015年4月に設置されました。また、その研究成果を基盤に教育を支援し、学際性・総合性・国際性を有する若手研究者の育成を促進していきます。本機構は、研究部門、高等教育部門、研究支援部門の3部門で構成されています。本機構の中心となる研究部門には、がん進展制御研究コア、革新的統合バイオ研究コア、未来社会創造研究コアの3つの研究コアに研究課題ごとの研究ユニットを配置し、学際的な研究を推進しています。

先端科学・ イノベーション推進機構 (O-FSI)

本学の教育研究のさらなる高度化の推進のため、基礎研究から応用研究まで一貫した研究支援と産学官連携による研究成果の社会還元への促進を目的としています。戦略的研究推進プログラムを含む研究部門と、研究支援を担当するアドミニストレーション部門で構成されています。

- インキュベーション施設
- 設備共同利用推進室
- ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー

国際機構

国際化に関する事業を統括し、本学の国際化を推進することを目的としています。国際化の戦略、基本方針、目標計画の原案策定や基盤整備などを行う「国際戦略室」、外国人留学生の渡日支援などを行う「インターナショナル・オフィス」、外国人留学生への日本語・日本文化教育や海外留学を希望する学生への指導助言、留学生教育の調査研究などを行う「留学生センター」、教員・職員・学生のニーズに応じた英語研修プログラム（English Language Programs）の企画と実施により、構成員の英語力強化に寄与する「スーパーグローバルELPセンター」で構成されています。

- 国際戦略室
- インターナショナル・オフィス
- 留学生センター
- スーパーグローバルELPセンター

附属施設・学内共同教育研究施設等

江戸時代の加賀藩種痘所開設（1862年）から始まり、今日では北陸全体の“医療の要”として常に最先端の医療を実践しています。各臓器別・疾患別に35科の専門診療科、ベッド数838床を備えた地域の中核的医療機関であり、特定機能病院にも指定されています。2007年には都道府県がん診療連携拠点病院の指定を受け、地域医療機関と協力してより良いがん医療を提供しています。2013年には石川県と連携し、TV会議システムやトレーニングシミュレーターを備えた「金大病院CPDセンター」を設置しました。同センターは県内における医療人の育成、専門職能力開発、生涯学習の充実および医療レベルの向上を目的としており、医療関係者同士の知的交流の場となることが期待されています。また、中部先端医療開発円環コンソーシアムや北陸臨床研究推進機構にも参加し、医療技術や医療機器の開発を目指しています。「最高の医療を提供するとともに、人間性ゆたかな優れた医療人の育成に努める」を基本理念とし、患者さんが満足できる医療の提供、将来を担う医師、看護師およびコメディカルの育成を目指します。



がんに関わる研究所としては文部科学省唯一の機関として、1967年に臨床研究部門を含む8研究部門制で設立されました。その後、部門増設等を経て1997年に3大部門制に拡大改組するとともに、新規抗がん治療法の開発を目指す“分子標的薬剤開発センター”を設置しました。この間、本研究所では、がん転移に関わるタンパク質分解酵素MT1-MMPの発見をはじめ、がんの病態成立に密接に関与しているケモカインやアポトーシスの機能解明を始めとした基礎研究に大きな成果をあげてきました。

2006年には、抗がん剤・放射線治療への抵抗性の克服を目指す「がん幹細胞研究センター」と、先進的ながんの診断・治療法の開発を目指す「分子標的がん医療研究開発センター」の設置などの改組を行ない、白血病幹細胞の維持に関わる重要な分子機序を明らかにしました。また2010年には、がんの悪性化にともなう転移・再発、および薬剤耐性機構の研究を進める



ために、「がん幹細胞研究プログラム」「がん微小環境研究プログラム」「がん分子標的探索プログラム」「がん分子標的医療開発プログラム」の4プログラム制へと改組、2015年4月には、さらなる機能強化のため、4プログラムの連携一体化を推進する「先進がんモデル共同研究センター」を設置しました。現在は、がん幹細胞、薬剤耐性、微小環境などの研究を通して、がんの転移や再発の本態解明と、革新的分子医薬の開発を目指した研究を推進しています。

中央図書館、自然科学系図書館、医学図書館から構成され、合わせて年間約76万人の入館者と、13万冊の館外貸出があります。蔵書数は189万冊にのぼり、本学の前身校から引き継いだ歴史的資料や、仏教関係の暁烏文庫などの貴重な書籍・資料もそろっています。学生の学習ニーズに合わせ、館内にはラーニングコモンズやアメニティゾーンを設置し、ラーニング・アドバイザーなどによる人的学修支援も行っています。また、国内外の図書館と協力して図書館ネットワークを形成し、来館の利用者（北陸3県在住者）に館内資料の直接貸出を行うほか、公共図書館を窓口とした貸出の申込受付など、社会人や地域の方にも積極的に学習の機会を提供しています。

- 中央図書館
- 自然科学系図書館
- 医学図書館

附属病院

がん進展制御研究所

附属図書館



附属施設・学内共同教育研究施設等

資料館



1989年に、本学および前身校に関する歴史的文書・資料を収集・整理・保存し、閲覧・公開等の利用に供することを目的に設立されました。文化史・自然史・科学技術史にわたる「学術標本」および「大学史料」を収蔵しています。年1回の特別展のほか、企画展・アウトリーチ展などを開催しています。博物館学系授業にも積極的に協力し、学生の実習施設としての役割を果たしています。また、文化施設としての機能も有しており、文部科学大臣から博物館担当施設の指定を受けています。

地域連携推進センター

本学が有する人的・物的資源を活用し、地域社会との連携推進の中核的役割を担うこと、および地域の課題解決に取り組むとともに、基幹的地方総合大学にふさわしいグローバルな視点を持ちつつ、地域再生に積極的に参画することにより、本学における教育研究の活性化にも寄与します。



学際科学実験センター

医学・自然科学系の研究支援・促進を担う4研究分野、5研究施設等から構成され、遺伝子組換え技術や放射性同位元素、遺伝子改変動物などの実験動物および最先端大型分析機器等の使用を伴う教育研究とその安全管理を行うことにより、医薬学、理工学分野の先端的、学際的研究の推進を図ります。

- 実験動物研究施設
- 実験動物研究施設 角間分室
- 遺伝子研究施設
- アイソトープ総合研究施設
- アイソトープ理工系研究施設
- 機器分析研究施設

総合メディア基盤センター



本学の情報ネットワークの拠点として、情報教育部門、学術情報部門、情報基盤部門および業務管理室から構成されます。学内の基幹ネットワーク（KAINS: 金沢大学学術統合ネットワークシステム）や本学のポータルサイト（アカンサスポータル）の新規開発・維持管理、マルチメディア教育施設や学術情報データベースなどの提供、パソコン相談カウンター業務を行っています。

環日本海域環境研究センター

環日本海域から東アジアにおける自然現象と人間活動により生ずる種々の環境問題の解決を目指し設立。研究の焦点を環日本海域の環境問題の解決に合わせるために、2015年4月から研究部門を4つの領域：大気環境領域、海洋環境領域、陸域環境領域および統合環境領域に改組しました。また、実験・研究施設として、能登スーパーサイト、臨海実験施設、低レベル放射能実験施設、尾小屋地下測定施設、植物園を有します。2016年4月には、文部科学省共同利用・共同研究拠点に「越境汚染に伴う環境変動に関する国際共同研究拠点」として認定され、能登半島地域の実験フィールドと国際共同観測ネットワークを広く学内外に開放し、大気—海洋—陸域を統合した越境汚染物質の動態解析モデルの確立、および、ヒトの健康・生態系への影響評価と将来予測について共同調査・共同研究を展開しています。

- 能登スーパーサイト
- 低レベル放射能実験施設
- 植物園
- 臨海実験施設
- 尾小屋地下測定施設

附属施設・学内共同教育研究施設等

本学における環境分野での調査研究、教育の推進を図るとともに、大学の化学物質管理システムの管理運営を行い、また、大学の研究、教育、医療活動等に伴い発生する各種の廃棄物などに含まれる重金属や有機溶媒などの無害化処理に関する技術支援等を行っています。

子どものこころを診ることのできる専門家の養成に努めるとともに、基礎研究から臨床治療・支援までの幅広い領域を専門とする研究者、臨床家によるメンバーが各自の専門性を活かしながらチーム一丸となって、子どものこころの問題に挑みます。

女性研究者のための、研究環境・制度の整備および啓発・広報活動を行っています。女性が積極的に研究を継続し、成果を挙げて実力を発揮できるように、また次世代女性研究者を魅了するために、真の男女共同参画社会の実現を目指します。さらに、本学において高い効果が得られた取り組みを、北陸地域における女性研究者ネットワーク「Hokuriku Women Researchers' Network (HWRN)」全体に普及・実施することで、地域で活躍し世界に情報発信できる女性研究者リーダーを育成するとともに、北陸地域全体の研究活動活性化に寄与することを目的としています。

学生および教職員の健康サポートや健康教育を通して、心身の健康を維持するためのサービスを提供しています。看護師や保健師が常駐し、保健指導や簡単な手当てをしています。内科医師による健康相談やカウンセラーによるカウンセリングも受けることができます。

極低温研究室では液体ヘリウム、液体窒素を使用する共通実験室を備え、超低温での研究が進められています。また、磁化測定装置や比熱測定装置などが共同利用されています。ヘリウム液化機、液体窒素貯槽を備えており、学内の多くの部局に液体ヘリウム、液体窒素を供給するとともに、低温実験に必要な技術的な指導、サービスも行っています。高圧ガス保安法に基づく安全講習も毎年実施しています。

本学構内の文化財を保護活用し、出土した資料等を教育および学術研究に資することを目的としています。センターの活動により、角間地区からは平安時代の寺院跡などが、宝町地区からは近世武家屋敷や寺院の遺構や遺物などが見つかっています。

本学における技術教育および研究支援を行うとともに、地域社会に対する技術支援・技術啓発等の社会貢献を行うことを目的としたセンターです。汎用機から最先端のマシニングセンターまで数多くの工作機械を有し、これらを有効利用することで、技術教育分野においては学生工作実習や自主的ものづくり支援、研究支援分野においては実験装置の設計・製作や技術開発相談、社会貢献分野においてはものづくり教室等の活動を行っています。また、ISO14001（環境マネジメントシステム）に準じた環境にやさしいものづくりに対する取り組みにも力を注いでいます。

環境保全センター

子どものこころの発達研究センター

男女共同参画キャリアデザインラボトリー

保健管理センター

極低温研究室

埋蔵文化財調査センター

技術支援センター

その他の施設等

金沢大学 学生留学生宿舎「先魁」

学生生活の支援と本学の国際化による外国人留学生の支援・受け入れ体制強化を目的とした学生・留学生の宿舎です。
日本人学生と外国人留学生が共同生活するシェアハウスタイプの宿舎（8人×13ユニット）となっています。
今後更に宿舎の増設を予定しています。



国際交流会館



外国人留学生と外国人研究者のための宿舎です。
78室の単身用居室と多目的室・ラウンジなどの共有スペースがあります。

金沢大学創立五十周年 記念館「角間の里」

金沢大学創立五十周年記念事業の一つとして、2005年に白峰村の民家（山口新十朗家、築300年）を移築しました。自然環境に恵まれた角間キャンパスでの、教育、研究、地域連携などを目的とした行事に利用されています。



金沢大学東京事務所

本学の首都圏における学生の就職活動の拠点、教職員の活動拠点、各同窓会の連絡拠点や交流の場として利用されています。

辰口共同研修センター

能美市の自然豊かなフィールドにある合宿研修施設です。会議室、宿泊室、体育館などを備え、日帰りの利用も可能です。研究室の発表会や各種サークル活動での利用に加え、地域教育・研究の拠点としても活用されています。



教育、研究、社会貢献活動の新たな拠点として、2016年4月に世界文化遺産である五箇山相倉合掌造り集落（富山県南砺市）に開所しました。合掌造り茅葺きの建物には、多目的スペースや和室のほか、シャワールームも完備されており、さまざまな活動に利用されています。

金沢大学サテライト・プラザ 金沢大学珠洲サテライト 金沢大学小松サテライト

学びと情報の発信拠点として、金沢市西町教育研修会館内にサテライト・プラザを設置。公開講座・ミニ講演の開催のほか、本学のサテライトキャンパスとして、授業やゼミに広く活用しています。また、能登、加賀地区では、遠隔地配信システムを利用した学びの場および市民交流の場として、サテライト施設を活用しています。

能登学舎

能登における大学と地域の教育研究拠点。能登半島の先端に位置し、前方には海を臨み、後方には里山が広がります。地域をフィールドに、地域再生人材の養成や環境教育、エアロゾル研究などユニークな取り組みが行われています。

学友支援室

全学同窓会「金沢大学学友会」を中心に、卒業生と在学生・教職員の相互交流を通じて本学の発展と社会に貢献する全学同窓会ネットワークを構築するため、同窓会・卒業生の情報収集および大学の情報提供を行っています。

金沢大学基金

学生を応援し、教育研究活動を支え、地域貢献活動を支援する基金です。奨学金の充実や学生の修学環境整備をはじめ、海外への学生派遣支援および海外からの留学生受入支援、地域連携を深める活動への支援を行っています。

金沢大学データ

●**淵源：1862年 加賀藩彦三種痘所**

2016年5月1日現在

●**教職員数：2,810人** 役員9人，教育研究職員1,290人，事務職員420人，技術職員1,091人

●**予算：総額55,632百万円（2016）**

●**面積：約267万㎡** 角間キャンパス2,008,565㎡，宝町・鶴間キャンパス151,053㎡，その他507,640㎡

●**組織**

3学域・16学類：

人間社会学域 人文学類，法学類，経済学類，学校教育学類，地域創造学類，国際学類

理 工 学 域 数物科学類，物質化学類，機械工学類，電子情報学類，環境デザイン学類，自然システム学類

医薬保健学域 医学類，薬学類，創薬科学類，保健学類

6研究科：

人間社会環境研究科，自然科学研究科，医薬保健学総合研究科，先進予防医学研究科，法務研究科，教職実践研究科

その他：

附属病院，がん進展制御研究所 等

【教育】

●**学生数：10,267人**

学士課程7,895人，大学院（修士・博士前期）1,279人，大学院（博士・博士後期）1,017人，専門職大学院45人，養護教諭特別別科31人

●**入学者数：1,776人** 北陸3県出身 約50％

●**卒業者数：1,789人 累計：87,676人** 学士課程卒業者の約30％が大学院等へ進学

●**蔵書数：189万冊** 電子ジャーナル7,622タイトル

【研究】

●**学術論文数：13,378件**（2005-2015）

●**学術論文被引用数：150,554件**（2005-2015）

国内大学17位，世界646位，薬学・毒性学分野 国内大学7位，神経科学・行動科学分野 国内大学10位

●**科研費：861件 1,940百万円**（2015実績）

●**外部資金：共同研究 263件 347百万円，受託研究 206件 1,687百万円，寄附金 1,832件 1,135百万円**（2015実績）

●**特許出願件数：69件**（2015実績）

【国際】

●**交流協定校数：218機関（43か国1地域）**

大学間交流協定校157機関（37か国1地域），部局間交流協定校 61機関（20か国1地域）

●**外国人留学生数：557人**

●**海外派遣学生数：335人**（2015実績） ※語学研修等を含む

●**外国人研究者等受入数：291人**（2015実績）

●**日本人研究者等海外派遣数：1,258人**（2015実績）

【医療】

●**病床数：838床**

●**外来患者数（1日平均）：1,524人**（2015実績）

●**入院患者数（1日平均）：734人**（2015実績）

【社会貢献】

●**自治体等との協定数：22件**

●**公開講座数：29講座**（2016）

【大学ランキング】

●**上海交通大学（2015）：国内 13-18位，世界 401-500位**

●**Quacquarelli Symonds Ltd.（2015/2016）：国内 16位，アジア圏 73位，世界 551-600位**

●**Times Higher Education（2015/2016）：国内 13位，世界 501-600位**

役職員

役員	
学長	山 崎 光 悦
理事（総括・改革・研究・財務担当）・副学長	向 智 里
理事（教育担当）・副学長	柴 田 正 良
理事（国際・附属病院・同窓会担当）・副学長	山 本 博
理事（企画評価・情報・社会貢献担当）・副学長	福 森 義 宏
理事（総務・人事・施設担当）・副学長	有 松 正 洋
理事（特命担当）	鈴 木 康 夫
監事	村 本 健 一 郎
監事	石 原 多 賀 子
副学長	
副学長	中 村 慎 一
副学長	加 納 重 義
副学長	大 竹 茂 樹
学長補佐・学長特別補佐	
学長補佐（大学改革・研究支援・国際担当）	中 西 義 信
学長補佐（研究戦略担当）	和 田 隆 志
学長補佐（大学院高度化担当）	飯 山 宏 一
学長補佐（教育改革・学修支援担当）	森 雅 秀
学長補佐（大学間連携担当）	古 畑 徹
学長補佐（入試・入試改革担当）	坂 本 二 郎
学長補佐（学生募集・広報戦略担当）	尾 島 恭 子
学長補佐（学生募集・広報戦略担当）	小 俣 正 朗
学長補佐（国際担当）	大 谷 吉 生
学長補佐（国際担当）	高 山 知 明
学長補佐（国際担当）	斉 木 麻 利 子
学長補佐（企画評価・教員人事改革担当）	岩 見 雅 史
学長補佐（ハラスメント防止担当）	中 村 正 人
学長補佐（男女共同参画推進担当）	池 本 良 子
学長特別補佐	大 瀧 幸 子
教育研究評議会評議員	
学長	山 崎 光 悦
理事（総括・改革・研究・財務担当）・副学長	向 智 里
理事（教育担当）・副学長	柴 田 正 良
理事（国際・附属病院・同窓会担当）・副学長	山 本 博
人間社会研究域長	樫見 由美子
理工研究域長	青 木 健 一
医薬保健研究域長	金 子 周 一
人文学類長	岩 田 礼
法学類長	石 田 道 彦
経済学類長	武 田 公 子
学校教育学類長	守 屋 哲 治
附属幼稚園長	山 下 浩
附属小学校長	吉 川 一 義
附属中学校長	折 川 司
附属高等学校長	大 谷 実
附属特別支援学校長	綿 引 伴 子
附属教育実践支援センター長	大 村 雅 章
地域創造学類長	山 岸 雅 子
国際学類長	加 藤 和 夫

平成28年5月1日現在

教育研究評議会評議員	
医学類長	多 久 和 陽
薬学類長	松 下 良
創薬科学類長	國 嶋 崇 隆
保健学類長	稲 垣 美 智 子
大学院人間社会環境研究科長	鏡 味 治 也
大学院自然科学研究科長	上 杉 喜 彦
大学院医薬保健学総合研究科長	堀 修
大学院先進予防医学研究科長	中 村 裕 之
大学院法務研究科長	佐 藤 美 樹
大学院教職実践研究科長	田 邊 俊 治
国際基幹教育院長	大 竹 茂 樹
附属病院長	蒲 田 敏 文
がん進展制御研究所長	大 島 正 伸
附属図書館長	福 森 義 宏
総合メディア基盤センター長	森 本 章 治
新学術創成研究機構長	中 村 慎 一

経営協議会委員	
学長	山 崎 光 悦
理事（総括・改革・研究・財務担当）・副学長	向 智 里
理事（国際・附属病院・同窓会担当）・副学長	山 本 博
理事（総務・人事・施設担当）・副学長	有 松 正 洋
人間社会研究域長	樫見 由美子
理工研究域長	青 木 健 一
医薬保健研究域長	金 子 周 一
神奈川大学特別招聘教授	上 村 大 輔
学校法人立命館名誉顧問	川 本 八 郎
学校法人大阪医科薬科大学顧問	國 澤 隆 雄
石川県副知事	中 西 吉 明
金沢市副市長	細 田 大 造
コマツ取締役会長	野 路 國 夫
科学技術振興機構研究開発戦略センター上席フェロー	林 幸 秀
新エネルギー・産業技術総合開発機構技術戦略研究センター ユニット長	矢 部 彰

人間社会学域	
学域長	樫見 由美子
人文学類長	岩 田 礼
法学類長	石 田 道 彦
経済学類長	武 田 公 子
学校教育学類長	守 屋 哲 治
附属幼稚園長	山 下 浩
附属小学校長	吉 川 一 義
附属中学校長	折 川 司
附属高等学校長	大 谷 実
附属特別支援学校長	綿 引 伴 子
附属教育実践支援センター長	大 村 雅 章
地域創造学類長	山 岸 雅 子
国際学類長	加 藤 和 夫

理工学域	
学域長	青 木 健 一
数物科学類長	小 俣 正 朗
物質化学類長	井 村 久 則
機械工学類長	喜 成 年 泰
電子情報学類長	三 好 正 人
環境デザイン学類長	高 山 純 一
自然システム学類長	瀬 戸 章 文

医薬保健学域	
学域長	金 子 周 一
医学類長	多 久 和 陽
薬学類長	松 下 良
創薬科学類長	國 嶋 崇 隆
薬学類・創薬科学類附属薬用植物園長	國 嶋 崇 隆
保健学類長	稲 垣 美 智 子

大学院	
人間社会環境研究科長	鏡 味 治 也
自然科学研究科長	上 杉 喜 彦
医薬保健学総合研究科長	堀 修
先進予防医学研究科長	中 村 裕 之
法務研究科長	佐 藤 美 樹
教職実践研究科長	田 邊 俊 治

人間社会研究域	
研究域長	樫見 由美子
人間科学系長	三 浦 要
歴史言語文化学系長	新 田 哲 夫
法学系長	岡 田 浩
経済学経営学系長	前 田 隆
学校教育系長	村 井 淳 志
附属地域政策研究センター長	佐 無 田 光
附属国際文化資源学研究センター長	森 雅 秀

理工研究域	
研究域長	青 木 健 一
数物科学系長	小 俣 正 朗
物質化学系長	井 村 久 則
機械工学系長	喜 成 年 泰
電子情報学系長	三 好 正 人
環境デザイン学系長	高 山 純 一
自然システム学系長	瀬 戸 章 文
バイオ AFM先端研究センター長	内 橋 貴 之
サステナブルエネルギー研究センター長	三 木 理

医薬保健研究域	
研究域長	金 子 周 一
医学系長	多 久 和 陽
薬学系長	國 嶋 崇 隆
保健学系長	稲 垣 美 智 子
附属健康増進科学センター長	須 釜 淳 子
附属脳・肝インターフェースメディシン研究センター長	河 崎 洋 志
先進予防医学研究センター長	中 村 裕 之

平成28年5月1日現在

国際基幹教育院	
教育院長	大 竹 茂 樹
GS教育系長	鈴 木 克 徳
外国語教育系長	澤 田 茂 保
高等教育開発・支援系長	堀 井 祐 介

附属病院	
病院長	蒲 田 敏 文

がん進展制御研究所	
所長	大 島 正 伸

附属図書館	
館長	福 森 義 宏
医学系分館長	尾 崎 紀 之

学内共同教育研究施設	
地域連携推進センター長	市 原 あ か ね
学際科学実験センター長	柴 和 弘
総合メディア基盤センター長	森 本 章 治
環日本海域環境研究センター長	長 尾 誠 也
環境保全センター長	千 木 昌 人
子どものこころの発達研究センター長	三 邊 義 雄

保健管理センター	
センター長	山 岸 正 和

グローバル人材育成推進機構	
機構長	山 崎 光 悦

新学術創成研究機構	
機構長	中 村 慎 一

先端科学・イノベーション推進機構	
機構長	向 智 里

国際機構	
機構長	山 本 博

学内共同利用施設	
極低温研究室長	松 本 宏 一
資料館長	奥 野 正 幸
埋蔵文化財調査センター長	足 立 拓 朗
技術支援センター長	細 川 晃

男女共同参画キャリアデザインラボラトリー	
ラボラトリー長	池 本 良 子

事務局	
事務局長	有 松 正 洋
事務局調整役	渡 邊 明 彦
国際担当部長	高 桑 謙 一
総務部長	花 島 信
財務部長	村 野 弘 明
施設部長	四 ッ 島 正 喜
研究推進部長	野 呂 瀬 寿
学生部長	酒 井 博 和
情報部長	上 地 進
病院部長	邊 見 達 義
人間社会系事務部長	谷 順 次
理工系事務部長	高 山 浩 接
医薬保健系事務部長	西 尾 茂

職員数

単位：人

平成28年5月1日現在

区 分		役員	教育研究職員							事務職員	技術職員	合計
			教授	准教授	講師	助教	助手	計	特任教員			
役 員	男	8										8
	女	1										1
	計	9										9
人間社会研究域	男		108	56	2	3	1	170	7			177
	女		23	24			1	48	5			53
	計		131	80	2	3	2	218	12			230
理工研究域	男		109	84	10	56	2	261	6		26	293
	女		2	5		5		12	1		2	15
	計		111	89	10	61	2	273	7		28	308
医薬保健研究域	男		71	60	5	68		204	14		12	230
	女		16	12		34		62			5	67
	計		87	72	5	102		266	14		17	297
大学院医薬保健学総合研究科	男								15			15
	女								2			2
	計								17			17
国際基幹教育院	男		12	13	2	2		29	11			40
	女		5	4		1		10	5			15
	計		17	17	2	3		39	16			55
附属病院	男		3	10	39	63		115	33		141	289
	女			1		15		16	12		858	886
	計		3	11	39	78		131	45		999	1,175
がん進展制御研究所	男		11	5		18		34	7			41
	女		1	1		4		6				6
	計		12	6		22		40	7			47
地域連携推進センター	男		1	1				2	3			5
	女											
	計		1	1				2	3			5
学際科学実験センター	男		1	5		4		10			4	14
	女		1					1			1	2
	計		2	5		4		11			5	16
総合メディア基盤センター	男		3	2		3		8				8
	女								1			1
	計		3	2		3		8	1			9
環日本海域環境研究センター	男		3	6		4		13	2		1	16
	女			2				2				2
	計		3	8		4		15	2		1	18
環境保全センター	男			1		1		2				2
	女			1				1				1
	計			2		1		3				3
子どものこころの発達研究センター	男		2					2	5			7
	女					1		1				1
	計		2			1		3	5			8
保健管理センター	男		1			1		2				2
	女			1		1		2	1		3	6
	計		1	1		2		4	1		3	8
新学術創成研究機構	男		3	5		6		14	1			15
	女					1		1	1			2
	計		3	5		7		15	2			17
先端科学・イノベーション推進機構	男		1	1		1		3	3			6
	女			1		1		2				2
	計		1	2		2		5	3			8
国際機構	男		3	2				5	3			8
	女		1	2				3	1			4
	計		4	4				8	4			12
男女共同参画キャリアデザイン ラボラトリー	男								1			1
	女								1			1
	計											
附属学校園	男									55		55
	女									54		54
	計									109		109
事務局	男									208	32	240
	女									212	6	218
	計									420	38	458
合計	男	8	332	251	58	230	3	874	110	55	208	1,471
	女	1	49	54	0	63	1	167	30	54	212	875
	計	9	381	305	58	293	4	1,041	140	109	420	1,091

単位：人

平成28年5月1日現在

年度末年齢	役員	教育研究職員								事務職員	技術職員	合計
		教授	准教授	講師	助教	助手	計	特任教員	教諭			
21-30					10		10	5	6	69	516	606
31-40		3	69	6	152		230	59	37	122	295	743
41-50		91	165	34	112	1	403	41	41	159	172	816
51-60	1	192	57	18	16	3	286	10	25	66	105	493
61-70	8	95	14		3		112	25		4	3	152
合計	9	381	305	58	293	4	1,041	140	109	420	1,091	2,810
平均年齢	65.2	55.3	45.7	47.4	40.5	53.5	47.9	44.8	43.7	41.2	34.3	41.3

職種別年齢構成表

財務状況

平成27事業年度決算

貸借対照表

科目	金額
■資産の部	
I. 固定資産	
1. 有形固定資産	118,842
2. 無形固定資産	323
3. 投資その他の資産	2,230
固定資産合計	121,395
II. 流動資産	
現金及び預金	10,593
未収入金	4,938
その他の流動資産	1,534
流動資産合計	17,065
資産合計	138,460

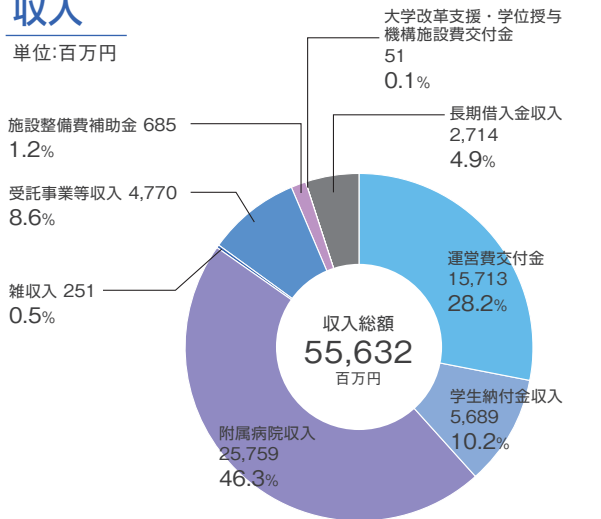
損益計算書

科目	金額
経常費用	52,180
業務費	50,442
一般管理費	1,227
その他費用	511
経常収益	53,997
運営費交付金収益	16,130
学生納付金収益	6,192
附属病院収益	24,810
その他収益	6,865
経常利益	1,818
臨時損失	548
臨時利益	317
当期純利益	1,586
目的積立金取崩額	717
当期総利益	2,303

平成28年度予算

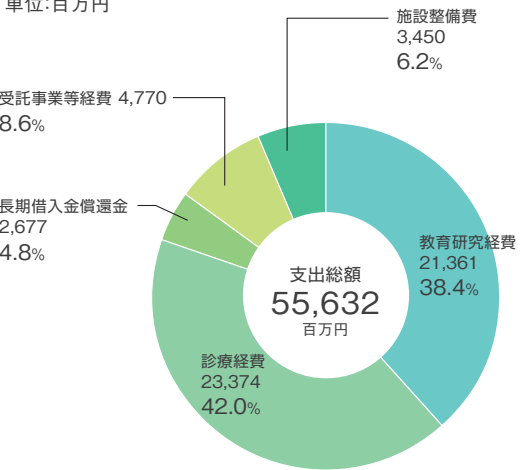
収入

単位:百万円



支出

単位:百万円



人件費の総額は、24,100 百万円であり、支出総額の 43.3% を占める。

学域・学類・研究科等

学士

学域・学類		コース・専攻
人間社会学域	人文学類	心理学コース 人間科学コース フィールド文化学コース 歴史文化学コース 言語文化学コース
		公共法政策コース 企業関係法コース 総合法学コース
		経済理論・経済政策コース 経営・情報コース 比較社会経済コース
		教育科学コース 教科教育学コース
		福祉マネジメントコース 環境共生コース 地域プランニングコース 健康スポーツコース
		国際社会コース 日本・日本語教育コース アジアコース 米英コース ヨーロッパコース
	地域創造学類	
理工学域	数物科学類	数学コース 物理学コース 計算科学コース
		化学コース 応用化学コース
		機械システムコース 知能機械コース 人間機械コース エネルギー環境コース
	物質化学類	電気電子コース 情報システムコース 生命情報コース
		土木建設コース 環境・防災コース 都市デザインコース
	環境デザイン学類	生物学コース バイオ工学コース 物質循環工学コース 地球学コース
医薬保健学域	医学類	
	薬学類	
	創薬科学類	
	保健学類	看護学専攻 放射線技術科学専攻 検査技術科学専攻 理学療法学専攻 作業療法学専攻

大学院

研究科・専攻		コース・プログラム等			
人間社会環境研究科 (博士前期課程)	人文学専攻	人間科学コース	歴史学コース	言語・文学コース	文化資源学コース
	法学・政治学専攻	基礎法学プログラム	公法学・社会法学プログラム	民事法学プログラム	政治学プログラム
	経済学専攻	経済理論・政策コース	国際社会・経済コース	経営情報コース	
	地域創造学専攻	地域創造学コース			
	国際学専攻	国際関係・地域研究コース	日本語教育・日本文化研究コース		
人間社会環境研究科 (博士後期課程)	人間社会環境学専攻	人文学コース	法学・政治学コース	社会経済学コース	
自然科学研究科 (博士前期課程)	数物科学専攻	数学コース	物理学コース	計算科学コース	
	物質化学専攻	化学コース	応用化学コース		
	機械科学専攻	機能機械コース	環境・人間機械コース		
	電子情報科学専攻				
	環境デザイン学専攻				
	自然システム学専攻	生命システムコース	バイオ工学コース	化学工学コース	地球環境学コース
自然科学研究科 (博士後期課程)	数物科学専攻				
	物質化学専攻				
	機械科学専攻				
	電子情報科学専攻				
	環境デザイン学専攻				
	自然システム学専攻				
医薬保健学総合研究科 (修士課程)	医科学専攻	医科学			
医薬保健学総合研究科 (博士課程)	医学専攻	脳・神経医学領域 社会環境医学領域	がん医学領域 内科系医学領域	環境医学領域 外科系医学領域	循環医学領域 生殖・発達医学領域
	薬学専攻				
医薬保健学総合研究科 (博士前期・後期課程)	創薬科学専攻				
	保健学専攻	臨床実践看護学 理学療法科学	健康発達看護学 作業療法学	量子医療技術学	病態検査学
先進予防医学研究科 (博士課程)	先進予防医学共同専攻				
法務研究科 (専門職学位課程)	法務専攻				
教職実践研究科 (専門職学位課程)	教職実践高度化専攻	学習デザインコース	学校マネジメントコース		

学生数

単位:人
平成28年5月1日現在
※は従前の学科を示す。() は女子学生数を内数で示す。*は女子学生の比率を示す。

学域・学部	学類・学科・課程	入学定員	在籍者数						計
			1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	
人間社会学域	人文学類	145	151 (96)	157 (102)	150 (92)	200 (124)			658 (414)
	法学類	170	170 (78)	171 (67)	178 (78)	209 (72)			728 (295)
	経済学類	185	185 (74)	183 (78)	183 (68)	226 (81)			777 (301)
	学校教育学類	100	102 (63)	108 (71)	106 (58)	113 (56)			429 (248)
	地域創造学類	80	85 (50)	79 (42)	77 (34)	102 (46)			343 (172)
	国際学類	70	76 (61)	75 (56)	72 (54)	114 (87)			337 (258)
	計	750	769 (422)	773 (416)	766 (384)	964 (466)			3,272 (1,688) * 51.6%
理工学域	数物科学類	84	87 (6)	88 (13)	91 (11)	117 (8)			383 (38)
	物質化学類	81	83 (28)	86 (23)	90 (23)	102 (19)			361 (93)
	機械工学類	140	148 (11)	148 (7)	165 (8)	182 (13)			643 (39)
	電子情報学類	108	112 (7)	112 (8)	120 (6)	152 (3)			496 (24)
	環境デザイン学類	74	80 (18)	79 (12)	84 (11)	94 (14)			337 (55)
	自然システム学類	102	108 (39)	111 (29)	107 (29)	132 (41)			458 (138)
	計	589	618 (109)	624 (92)	657 (88)	779 (98)			2,678 (387) * 14.5%
医薬保健学域	医学類	112	112 (24)	122 (29)	121 (24)	116 (33)	120 (26)	120 (31)	711 (167)
	薬学類・創薬科学類	75	75 (31)	76 (43)	75 (32)				226 (106)
	薬学類	35				36 (18)	35 (17)	36 (23)	107 (58)
	創薬科学類	40				48 (14)			48 (14)
	保健学類	200	202 (151)	199 (147)	220 (165)	228 (171)			849 (634)
	計	387	389 (206)	397 (219)	416 (221)	428 (236)	155 (43)	156 (54)	1,941 (979) * 50.4%
医学部	医学科*							3 (1)	3 (1)
	計							3 (1)	3 (1) * 33.3%
工学部	情報システム工学科*					1 (0)			1 (0)
	計					1 (0)			1 (0) * 0.0%
合計		1,726	1,776 (737)	1,794 (727)	1,839 (693)	2,172 (800)	155 (43)	159 (55)	7,895 (3,055) * 38.7%

単位:人
平成28年5月1日現在
※は従前の専攻を示す。() は女子学生数を内数で示す。*は女子学生の比率を示す。

研究科	専攻名	入学定員	在籍者数		
			1年次	2年次	計
人間社会環境研究科	人文学専攻	23	17 (10)	30 (21)	47 (31)
	法学・政治学専攻	8	3 (0)	5 (2)	8 (2)
	経済学専攻	8	10 (2)	8 (4)	18 (6)
	地域創造学専攻	8	4 (2)	12 (4)	16 (6)
	国際学専攻	8	6 (6)	13 (12)	19 (18)
	人間文化専攻*			1 (1)	1 (1)
自然科学研究科	計	55	40 (20)	69 (44)	109 (64) * 58.7%
	数物科学専攻	56	52 (2)	86 (11)	138 (13)
	物質化学専攻	57	62 (16)	60 (9)	122 (25)
	機械科学専攻	90	113 (4)	118 (2)	231 (6)
	電子情報科学専攻	67	81 (2)	89 (1)	170 (3)
	環境デザイン学専攻	40	32 (7)	47 (12)	79 (19)
	自然システム学専攻	67	76 (21)	79 (25)	155 (46)
	電子情報工学専攻*			1 (0)	1 (0)
	計	377	416 (52)	480 (60)	896 (112) * 12.5%
医薬保健学総合研究科	医科学専攻	15	12 (6)	11 (4)	23 (10)
	創薬科学専攻	38	38 (14)	44 (21)	82 (35)
	保健学専攻	70	65 (33)	74 (37)	139 (70)
	計	123	115 (53)	129 (62)	244 (115) * 47.1%
教育学研究科	教育実践高度化専攻*			29 (16)	29 (16)
	計			29 (16)	29 (16) * 55.2%
医学系研究科	保健学専攻*			1 (0)	1 (0)
	計			1 (0)	1 (0) * 0.0%
合計		555	571 (125)	708 (182)	1,279 (307) * 24.0%

大学院 博士（後期）課程

研究科	専攻名	入学定員	在籍者数				計
			1年次	2年次	3年次	4年次	
人間社会環境研究科	人間社会環境学専攻	12	14 (8)	13 (10)	47 (29)		74 (47)
	計	12	14 (8)	13 (10)	47 (29)		74 (47) * 63.5%
自然科学研究科	数物科学専攻	15	7 (0)	14 (2)	8 (1)		29 (3)
	物質化学専攻	14	2 (0)	9 (1)	6 (2)		17 (3)
	機械科学専攻	25	10 (1)	23 (6)	6 (1)		39 (8)
	電子情報科学専攻	18	5 (0)	11 (2)	17 (5)		33 (7)
	環境デザイン学専攻	10	8 (3)	20 (3)	11 (1)		39 (7)
	自然システム学専攻	21	5 (2)	14 (6)	19 (4)		38 (12)
	数物科学専攻*				5 (1)		5 (1)
	電子情報科学専攻*				9 (0)		9 (0)
	システム創成科学専攻*				7 (0)		7 (0)
	物質科学専攻*				9 (1)		9 (1)
	環境科学専攻*				19 (3)		19 (3)
	生命科学専攻*				6 (1)		6 (1)
	計	103	37 (6)	91 (20)	122 (20)		250 (46) * 18.4%
医薬保健学総合研究科	医学専攻	64	54 (16)				54 (16)
	薬学専攻	4	4 (3)	5 (0)	2 (1)	6 (1)	17 (5)
	創薬科学専攻	11	10 (3)	10 (3)	24 (10)		44 (16)
	保健学専攻	25	21 (11)	39 (22)	62 (37)		122 (70)
	脳医科学専攻*			20 (6)	17 (7)	21 (4)	58 (17)
	がん医科学専攻*			34 (4)	34 (6)	48 (14)	116 (24)
	循環医科学専攻*			19 (6)	17 (6)	25 (4)	61 (16)
	環境医科学専攻*			18 (4)	20 (5)	22 (4)	60 (13)
	計	104	89 (33)	145 (45)	176 (72)	122 (27)	532 (177) * 33.3%
先進予防医学研究科	先進予防医学共同専攻	12	14 (4)				14 (4)
	計	12	14 (4)				14 (4) * 28.6%
医学系研究科	脳医科学専攻*					13 (4)	13 (4)
	がん医科学専攻*					43 (8)	43 (8)
	循環医科学専攻*					31 (6)	31 (6)
	環境医科学専攻*					27 (5)	27 (5)
	保健学専攻*					33 (10)	33 (10)
合計		231	154 (51)	249 (75)	378 (131)	236 (50)	1,017 (307) * 30.2%

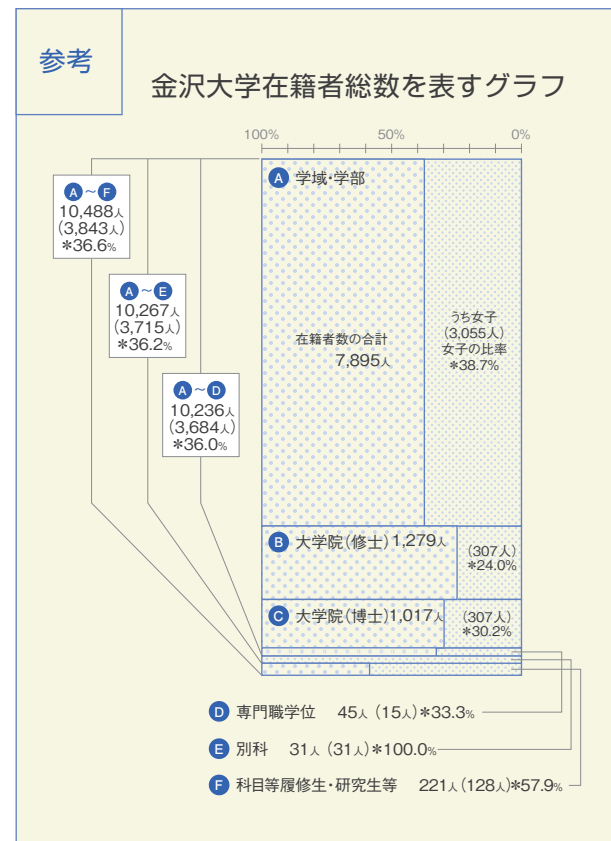
大学院 専門職学位課程

研究科	専攻名	入学定員	在籍者数			計
			1年次	2年次	3年次	
法務研究科	法務専攻	15	7 (1)	12 (4)	11 (3)	30 (8)
	計	15	7 (1)	12 (4)	11 (3)	30 (8) * 26.7%
教職実践研究科	教職実践高度化専攻	15	15 (7)			15 (7)
	計	15	15 (7)			15 (7) * 46.7%
合計		30	22 (8)	12 (4)	11 (3)	45 (15) * 33.3%

平成28年5月1日現在
() は女子学生数を内数で示す。
* は女子学生の比率を示す。

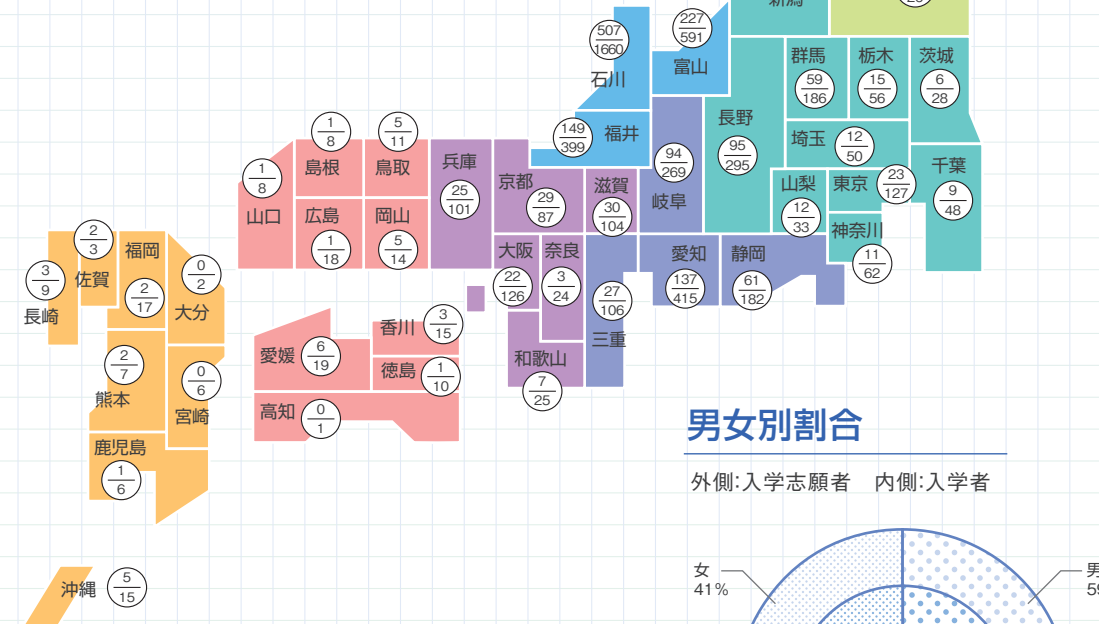
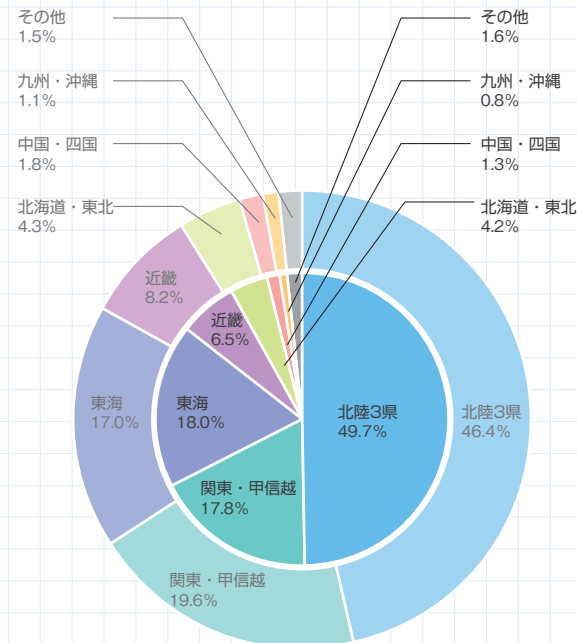
別科	入学定員	在籍者数
養護教諭特別別科 (1年制)	人 40	人 31 (31)
合計	40	31 (31) * 100.0%

科目等履修生・研究生等			
区分	在籍者数		
	科目等履修生	研究生等	計
学士	人 33 (16)	人 31 (23)	人 64 (39)
大学院	16 (4)	45 (21)	61 (25)
留学生センター	4 (4)	92 (60)	96 (64)
合計	53 (24)	168 (104)	221 (128) * 57.9%

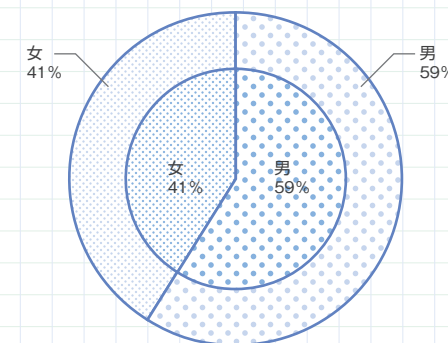
[illegible]

出身地別割合

外側:入学志願者 内側:入学者

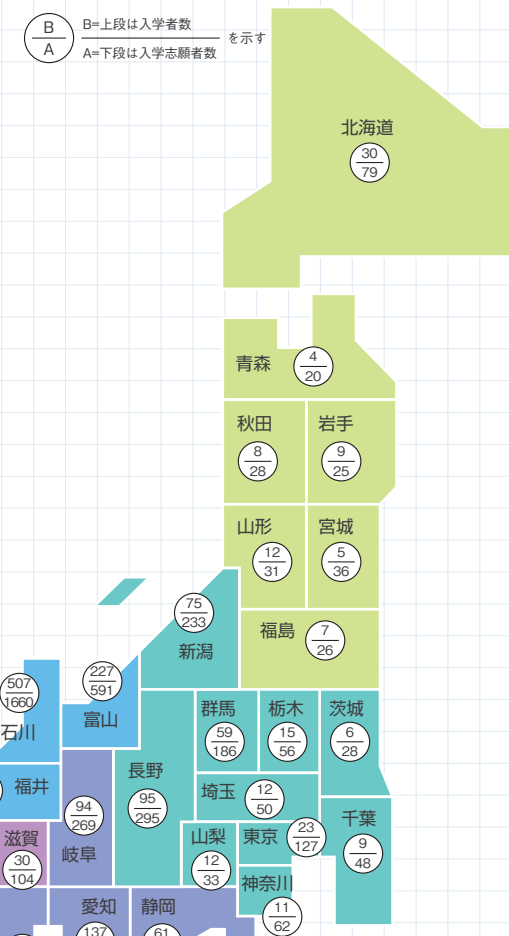


高等学校卒業程度認定試験等合格者	$\frac{4}{24}$
外国の学校等	$\frac{24}{61}$
その他（専修学校の高等課程等）	$\frac{0}{0}$



都道府県別数

注) 都道府県及び出身地とは、出身高等学校等の所在地によるものとする。

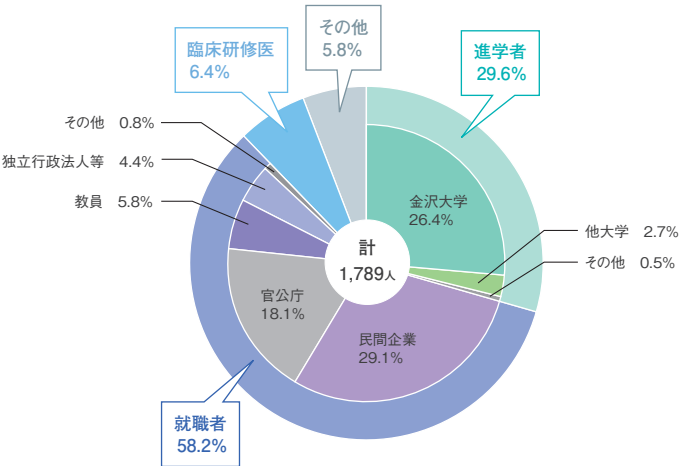


男女別割合

外側:入学志願者 内側:入学者

卒業生・修了者数（学位授与数）及び進路状況

学士（学域・学部）

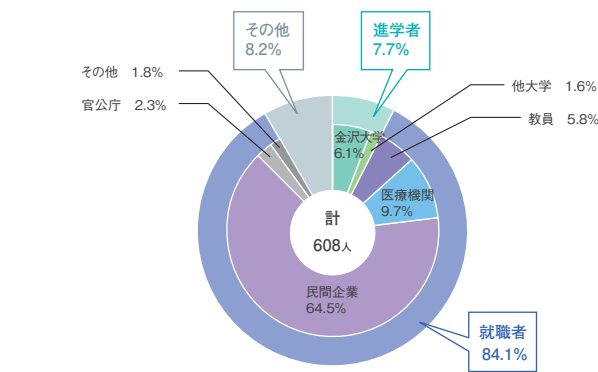


平成27年度卒業生・修了者の進路別内訳

単位：人
平成28年5月1日現在

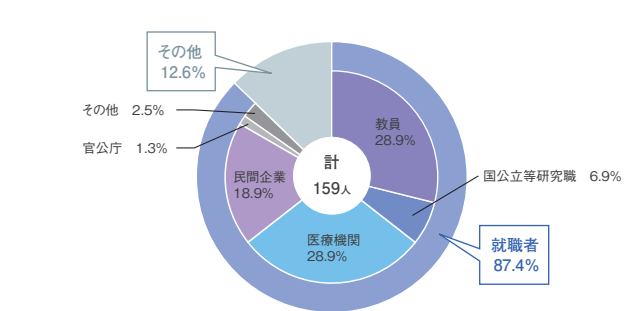
学域・学類／学部		累計 (平成27年度を含む)	卒業生 (平成27年度)	進学者				就職者						左欄(就職者)の地区別内訳								臨床 研修医	その他
				大学院			計	民間企業	官公庁	教員	独立行政 法人等	その他	計	石川	富山・福井	関東	東海	近畿	その他	計			
				金沢大学	他大学	その他																	
人間社会学域	人文学類	702	137	6	6	0	12	55	45	8	2	2	112	37	26	19	16	4	10	112	0	13	
	法学類	836	172	2	8	0	10	52	88	1	3	2	146	33	22	29	30	10	22	146	0	16	
	経済学類	887	170	1	2	0	3	89	65	4	2	0	160	48	28	37	27	14	6	160	0	7	
	学校教育学類	513	100	1	4	0	5	15	3	70	0	0	88	48	27	0	4	2	7	88	0	7	
	地域創造学類	372	77	1	0	0	1	43	25	1	1	2	72	23	15	13	2	7	12	72	0	4	
	国際学類	336	59	1	2	0	3	42	7	1	0	1	51	7	10	14	5	5	10	51	0	5	
理工学域	数物科学類	441	85	49	3	0	52	13	4	11	0	0	28	8	8	3	2	2	5	28	0	5	
	物質化学類	439	83	57	2	0	59	15	1	4	0	1	21	8	5	5	1	0	2	21	0	3	
	機械工学類	769	165	113	10	0	123	34	2	0	0	0	36	6	3	8	11	6	2	36	0	6	
	電子情報学類	610	122	73	4	0	77	35	4	0	0	0	39	12	7	10	5	2	3	39	0	6	
	環境デザイン学類	417	92	25	3	0	28	28	33	0	0	0	61	16	6	23	6	4	6	61	0	3	
	自然システム学類	525	114	74	3	0	77	18	6	2	2	0	28	6	4	9	5	1	3	28	0	9	
医薬保健学域	医学類	305	119	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	113	6	
	薬学類	106	35	1	0	0	1	16	8	0	8	1	33	9	5	6	2	2	9	33	0	1	
	創薬科学類	179	39	35	0	1	36	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	2	
	保健学類	1,043	215	34	2	7	43	65	33	1	60	6	165	66	25	20	16	13	25	165	0	7	
学部	(文学部)	4,163	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	(教育学部)	13,857	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	(法学部)	5,620																					
	(経済学部)	5,450	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	(理学部)	7,354																					
	(医学部(医学科))	5,946	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	
	(医学部(保健学科))	2,646	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	(薬学部)	4,003																					
	(工学部)	22,075	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	(法文学部)	8,082																					
計		87,676	1,789	473	49	8	530	521	324	103	78	15	1,041	327	191	196	132	73	122	1,041	114	104	

大学院 修士課程・博士（前期）課程



研究科	累計 (平成27年度を含む)	修了者 (平成27年度)	進学者				就職者													その他
			大学院			計	教員		国公立等 研究職	医療機関		民間	民間企業			官公庁	その他	計		
			金沢大学	他大学	その他		大学・短大	その他		国公立等	研究職		技術職	事務職等						
教育学研究科	1,213	14	0	0	0	0	0	12	0	0	0	0	0	1	0	0	0	13	1	
人間社会環境研究科	444	60	10	3	0	13	3	3	0	0	0	0	3	13	3	4	29	18		
自然科学研究科	7,952	423	16	4	0	20	1	10	0	0	1	20	322	12	10	5	381	22		
医薬保健学総合研究科	320	110	11	3	0	14	4	1	0	32	26	6	13	2	1	2	87	9		
(医学系研究科)	990	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0		
(文学研究科)	622																			
(法学研究科)	214																			
(経済学研究科)	166																			
(理学研究科)	1,677																			
(薬学研究科)	718																			
(工学研究科)	3,136																			
計	17,452	608	37	10	0	47	9	26	0	32	27	26	339	27	14	11	511	50		

大学院 博士（後期）課程



研究科	課程修了者（博士）		論文審査合格者（博士）		進学者				就職者													その他
	累計	平成27年度	累計	平成27年度	大学院			計	教員		国公立等 研究職	医療機関		民間企業			官公庁	その他	計			
					金沢大学	他大学	その他		大学・短大	その他		国公立等	民間	研究職	技術職	事務職等						
人間社会環境研究科	60	9	12	1	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 3	(1) 1	(1) 3	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(2) 0	(0) 0	(0) 0	(4) 7	(2) 2		
自然科学研究科	1,638	63	356	1	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 20	(0) 2	(0) 4	(0) 0	(0) 0	(2) 8	(2) 17	(1) 0	(1) 1	(0) 0	(6) 52	(1) 11		
医薬保健学総合研究科	56	35	27	6	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(2) 10	(0) 0	(0) 4	(0) 7	(0) 5	(0) 3	(0) 0	(0) 1	(0) 1	(0) 2	(2) 33	(0) 2		
医学系研究科	2,540	52	1,674		(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(2) 10	(0) 0	(0) 0	(7) 22	(2) 12	(0) 1	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 2	(11) 47	(1) 5		
(社会環境科学研究科)	118		20		(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0		
計	4,412	159	2,089	8	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(4) 43	(1) 3	(1) 11	(7) 29	(2) 17	(2) 12	(2) 17	(3) 1	(1) 2	(0) 4	(23) 139	(4) 20		

※（ ）は満期退学者数で外数

大学院 専門職学位課程

研究科	累計 (平成27年度を含む)	修了者 (平成27年度)	進学者				就職者												その他
			大学院			計	教員		国公立等 研究職	医療機関		民間企業			官公庁	その他	計		
			金沢大学	他大学	その他		大学・短大	その他		国公立等	民間	研究職	技術職	事務職等					
法務研究科	232	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	

専攻科・別科

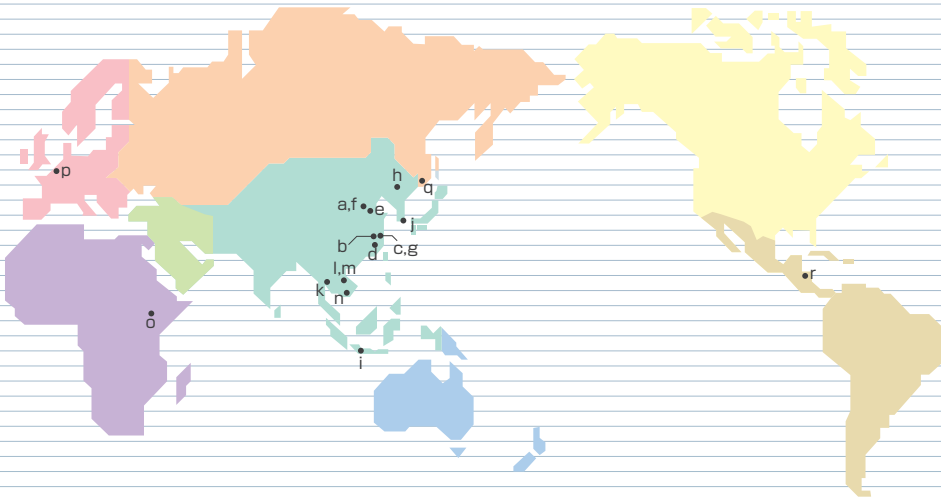
別科・専攻科	累計 (平成27年度を含む)	修了者 (平成27年度)	進学者	教員	医療施設職員	福祉施設職員	その他
養護教諭特別別科	1,339	32	0	26	4	0	2
(特殊教育特別専攻)	245						

国際交流

■海外リエゾンオフィス

平成28年5月1日現在

区分	国・地域名	記号	施設名（都市名）	オフィス設置場所	設置年月
アジア	中国	a	北京事務所（北京）	中国科学院大気物理研究所内	H19.04
		b	蘇州事務所（蘇州）	蘇州大学内	H20.03
		c	上海事務所（上海）	石川県上海事務所内	H20.08
		d	杭州事務所（杭州）	浙江工業大学内	H21.04
		e	天津事務所（天津）	天津市生物医学研究所内	H21.04
		f	北京事務所（北京）	北京師範大学内	H21.08
		g	上海事務所（上海）	北陸銀行上海駐在員事務所内	H21.09
		h	国立六大学長春共同事務所（長春）	東北師範大学内	H26.11
	インドネシア	i	バンドン事務所（バンドン）	バンドン工科大学内	H21.04
	韓国	j	釜山事務所（釜山）	釜慶大学海洋共同研究所内	H19.01
	タイ	k	バンコク事務所（バンコク）	モンクット王工科大学内	H22.02
	ベトナム	l	ハノイ事務所（ハノイ）	三谷産業ハノイ支部内	H20.08
		m	ハノイ事務所（ハノイ医薬保健学域連絡事務所）（ハノイ）	ハノイ医科大学内	H22.02
		n	ホーチミン事務所（ホーチミン）	三谷産業ホーチミン支部内	H22.04
アフリカ	ケニア	o	ナイロビ事務所（ナイロビ）	ケニア中央医学研究所内	H22.03
ヨーロッパ	ベルギー	p	ゲント事務所（ゲント）	ゲント大学内	H27.05
ロシア及びNIS諸国	ロシア	q	ウラジオストク事務所（ウラジオストク）	ロシア科学アカデミー極東支部太平洋海洋研究所内	H20.11
中南アメリカ	グアテマラ	r	ティカル事務所（フローレス）	文化スポーツ省文化自然遺産副省ティカル国立公園内	H24.07



■大学間／部局間国際交流協定 機関分布

	アジア	中東	オセアニア	アフリカ	ヨーロッパ	ロシア及び NIS 諸国	北アメリカ	中南 アメリカ	国際機関
大学間国際交流協定 157機関（37か国1地域）	97	5	7	3	25	4	10	5	1
部局間国際交流協定 61機関（20か国1地域）	39	1	2	1	9	4	5	-	-
総計 218機関（43か国1地域）	136	6	9	4	34	8	15	5	1

■大学間国際交流 協定機関 157機関（37か国1地域）

平成28年5月1日現在

区分	国・地域名	協定機関名（都市名）	締結年月日
国際機関		東・東南アジア地球科学計画調整委員会「CCOP」	H23.03.29
アジア	バングラデシュ	ダッカ大学（ダッカ）	H22.04.19
		チッタゴン大学（チッタゴン）	H26.10.22
	カンボジア	アンコール遺跡整備公団（シェムリアプ）	H22.02.09
		カンボジア工科大学（プノンペン）	H22.02.11
		カンボジア国立経営大学（プノンペン）	H26.02.26
	中国	蘇州大学（蘇州）	H09.01.22
		ハルビン医科大学（ハルビン）	H11.03.20
		北京師範大学（北京）	H11.09.14

区分	国・地域名	協定機関名（都市名）	締結年月日
アジア	中国	北京工業大学（北京）	H12.08.11
		大連大学（大連）	H13.03.08
		四川大学（成都）	H15.03.05
		大連理工大学（大連）	H15.10.21
		南京大学（南京）	H16.03.26
		延边大学（延吉）	H19.01.31
		華東理工大学（上海）	H20.11.20
		南開大学（天津）	H20.12.23
		浙江工業大学（杭州）	H20.12.24
		北京語言大学（北京）	H21.03.30
		西安電子科技大学（西安）	H21.08.24
		東華大学（上海）	H22.11.01
		中国科学院地理科学・資源研究所（北京）	H23.05.03
		北京大学（北京）	H23.10.19
		上海對外経貿大学（上海）	H23.12.15
		東北師範大学（長春）	H26.11.04
		青島科技大学（青島）	H26.12.23
		上海理工大学（上海）	H27.05.25
		中国人民大学（北京）	H28.02.29
		サビットリバイ・フール・ブネー大学（ブネー）	H11.09.01
	インド	ティラク・マハラシュトラ大学（ブネー）	H25.05.07
		バンドン工科大学（バンドン）	H20.03.03
		インドネシア教育大学（バンドン）	H22.05.24
		スマラン国立大学（スマラン）	H24.09.24
		ブラウィジャヤ大学（マラン）	H24.09.25
		インドネシア大学（デボック）	H24.09.25
		ガジャマダ大学（ジョグジャカルタ）	H24.10.18
		国立マラン大学（マラン）	H25.04.02
		インドネシアコンピューター大学（バンドン）	H28.01.30
		国際女性大学（バンドン）	H28.01.30
		バスンダン大学（バンドン）	H28.01.30
		エクイタス経済大学（バンドン）	H28.01.30
		ムルデカ大学マラン（マラン）	H28.01.30
	韓国	東亜大学（釜山）	H10.04.16
		釜山大学（釜山）	H12.09.26
		韓国地質資源研究院（大田）	H17.10.17
		釜慶大学（釜山）	H19.01.23
		湖西大学（牙山）	H24.09.25
		漢陽大学（ソウル）	H25.01.07
		全北大学（全州）	H25.06.24
		金烏工科大学（亀尾）	H26.07.16
	ラオス	ラオス国立大学（ヴィエンチャン）	H25.12.26
		ラオス保健科学大学（ヴィエンチャン）	H25.12.27
	マレーシア	マラヤ大学（クアラルンプール）	H23.04.29
	モンゴル	モンゴル国立大学（ウランバートル）	H24.10.05
		モンゴル国立医科大学（ウランバートル）	H27.10.15
		モンゴル国立がんセンター（ウランバートル）	H27.10.30
		モンゴル科学アカデミー（ウランバートル）	H27.11.16
		チュロンコン大学（バンコク）	H11.07.16
		モンクット王工科大学 トンブリ（バンコク）	H12.04.21
	タイ	チェンマイ大学（チェンマイ）	H20.01.08
		プリンスオブソンクラ大学（ハジャイ）	H23.03.24
		コンケン大学（コンケン）	H23.06.13
		シーナカリンウィロート大学（バンコク）	H23.07.22
		ナレースワン大学（ピサヌローク）	H25.09.26
		カセサート大学（バンコク）	H27.01.05
	ベトナム	ハノイ医科大学（ハノイ）	H21.09.16
		ハノイ工科大学（ハノイ）	H21.09.18
		ベトナム金融アカデミー（ハノイ）	H21.12.04
		カントー大学（カントー）	H21.12.04
		ダナン工科大学（ダナン）	H21.12.04
		ハノイ貿易大学（ハノイ）	H21.12.04
		ハイフォン医科薬科大学（ハイフォン）	H21.12.04
		ハノイ師範大学（ハノイ）	H21.12.04
		ハノイ大学（ハノイ）	H21.12.04
		ハノイ薬科大学（ハノイ）	H21.12.04
		ホーチミン市薬科大学（ホーチミン）	H21.12.04
		ホーチミン市教育大学（ホーチミン）	H21.12.04
		フエ大学（フエ）	H21.12.04
		ニャチャン大学（ニャチャン）	H21.12.04
		ノンラム大学（ホーチミン）	H21.12.04
		タイグエン大学（タイグエン）	H21.12.04
		タイグエン医科薬科大学（タイグエン）	H21.12.04
		ハノイ運輸通信大学（ハノイ）	H21.12.04

区分	国・地域名	協定機関名（都市名）	締結年月日
アジア	ベトナム	ベトナム国家大学ハノイ校（ハノイ）	H21.12.04
		ベトナム国家農業大学（ハノイ）	H21.12.04
		ベトナム国家大学ハノイ工業技術大学（ハノイ）	H21.12.04
		ベトナム国家大学ハノイ自然科学大学（ハノイ）	H21.12.04
		ベトナム国家大学ホーチミン市理科大学（ホーチミン）	H21.12.04
		ラックホン大学（ビエンホア）	H22.03.31
		ベトナム国家大学ホーチミン市工科大学（ホーチミン）	H22.11.23
		ベトナム国家大学ホーチミン市人文社会科学大学（ホーチミン）	H23.12.05
		ダナン大学（ダナン）	H24.02.27
		ハノイ建設大学（ハノイ）	H24.03.09
	台湾（地域）	ハノイ国家大学外国語大学（ハノイ）	H26.04.10
		国立台湾師範大学（台北）	H12.08.16
		国立台湾大学（台北）	H23.05.10
		輔仁大学（新北）	H24.12.11
中東	イラン	アザルバイジャン・シャヒド・マダニ大学（タブリーズ）	H28.03.07
		イマーム大学（リヤド）	H22.07.08
		キングファイサル大学（ハサー）	H24.05.16
	トルコ	チャナッカレ・オンセキズ・マルト大学（チャナッカレ）	H25.09.19
	アラブ首長国連邦	シャルジャ大学（シャルジャ）	H24.01.29
オセアニア	オーストラリア	オーストラリア国立大学（キャンベラ）	H10.08.24
		ロイヤル・メルボルン工科大学（メルボルン）	H12.03.16
		グリフィス大学（ブリスベン）	H12.03.20
		シドニー工科大学（シドニー）	H24.08.15
		ニューイングランド大学（アーミデール）	H25.04.02
		マッコーリー大学（ノースライド）	H25.05.27
		チャールズ・ダーウィン大学（ダーウィン）	H27.04.22
アフリカ	エジプト	アシュート大学（アシュート）	H12.03.24
	ケニア	ケニア中央医学研究所（ナイロビ） ナイロビ大学（ナイロビ）	H23.10.04 H23.10.04
ヨーロッパ	ベルギー	ゲント大学（ゲント）	H21.07.21
	ブルガリア	バルナ医科大学（バルナ）	H22.04.07
	チェコ	カレル大学（プラハ） チェコ工科大学（プラハ）	H07.09.04 H26.10.07
	フィンランド	ユバスキュラ大学（ユバスキュラ）	H10.12.17
		アールト大学（ヘルシンキ）	H12.08.21
	フランス	ロレーヌ大学（ナンシー）	S51.09.21
		オルレアン大学（オルレアン）	H22.07.22
		トゥールーズ大学ジャン・ジョレス校（トゥールーズ）	H25.09.10
		ジャン・ムーラン・リヨン第3大学（リヨン）	H27.02.19
	ドイツ	ジーゲン大学（ジーゲン）	H05.09.14
		レーゲンスブルク大学（レーゲンスブルク）	H11.10.13
		ヴュルツブルク大学（ヴュルツブルク）	H27.10.26
	アイルランド	ダブリンシティ大学（ダブリン）	H03.10.14
	イタリア	フィレンツェ大学（フィレンツェ）	H23.02.01
	ポーランド	ルブリン工科大学（ルブリン）	H12.08.17
		ワルシャワ大学（ワルシャワ）	H22.11.22
	スロバキア	スロバキア工科大学（ブラチスラバ）	H12.08.23
	スペイン	バルセロナ自治大学（バルセロナ）	H22.04.14
		サラマンカ大学（サラマンカ）	H25.03.13
	イギリス	サンティアゴ・デ・コンポステーラ大学（サンティアゴ・デ・コンポステーラ）	H25.03.15
		リバプール・ジョン・モアズ大学（リバプール）	H03.10.04
		シェフィールド大学（シェフィールド）	H03.10.08
		セントラル・ランカシャー大学（プレストン）	H26.04.02
		セインズベリー日本藝術研究所（ノリッチ）	H27.03.03
ロシア及びNIS諸国	ロシア	カザン連邦大学（カザン）	H10.09.03
		ロシア科学アカデミー極東支部（ウラジオストク）	H12.11.22
		国立アルタイ大学（バルナウル）	H26.01.10
		極東連邦大学（ウラジオストク）	H26.04.14
北アメリカ	カナダ	ユーコンカレッジ（ホホワイトホース）	H25.09.13
		モントリオール大学（モントリオール）	H25.11.29
	アメリカ合衆国	ペンシルバニア大学（ペンシルバニア州フィラデルフィア）	S31.01.20
		ニューヨーク州立大学バッファロー校（ニューヨーク州バッファロー）	S49.06.12
		ウィリアム・アンド・メアリー大学（バージニア州ウィリアムズバーグ）	H03.06.06
		タフツ大学（マサチューセッツ州メドフォード）	H08.12.27
		ニューヨーク州立大学 ニューボルツ校（ニューヨーク州ニューボルツ）	H10.08.05
		ネヴァダ大学リノ校（ネヴァダ州リノ）	H21.11.24
		イリノイカレッジ（イリノイ州ジャクソンビル）	H23.10.14
		ワグナーカレッジ（ニューヨーク州スタテンアイランド）	H26.03.27
中南アメリカ	ブラジル	リオデジャネイロ州立大学（リオデジャネイロ）	H28.01.13
		文化スポーツ省文化自然遺産副省（グアテマラシティ）	H23.06.27
	グアテマラ	グアテマラ・デル・バジェ大学（グアテマラシティ）	H27.08.03
		ホンジュラス国立人類学歴史学研究所（テグシガルバ）	H25.02.08
	メキシコ	モンテレイ工科大学（モンテレイ）	H22.05.03

■部局間国際交流 協定機関 61機関（20か国1地域）

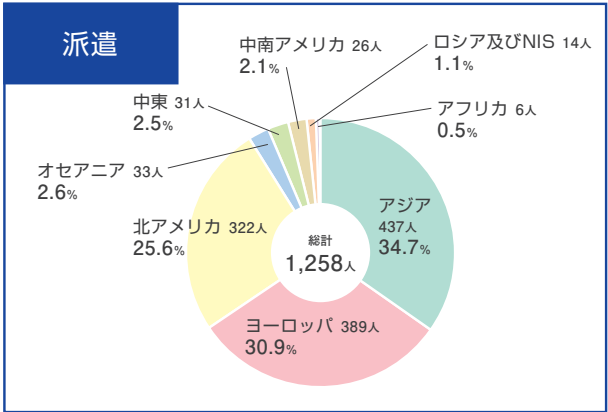
平成28年5月1日現在

区分	国・地域名	本学の協定締結部局	協定機関（都市名）	締結年月日	
アジア	中国	人間社会環境研究科	浙江大学人文学院（杭州）	H22.10.11	
		人間社会学域	雲南民族大学民族文化学院（昆明）	H23.10.31	
		人間社会学域	中山大学地理科学与企画学院（広州）	H26.12.11	
		理工学域	浙江大学理学部（杭州）	H21.04.30	
		理工学域	清華大学環境学院（北京）	H24.02.20	
		理工学域	山東大学工学部（済南）	H24.03.27	
		理工学域	復旦大学社会発展与公共政策学院（上海）	H24.08.06	
		理工学域	清華大学建築学院（北京）	H24.08.27	
		理工学域	福州大学建築学院及び環境与資源学院（福州）	H26.04.22	
		環日本海域環境研究センター	中国科学院大気物理研究所大気科学と地球流体力学数値モデリング国家重点研究所（北京）	H19.04.24	
		医薬保健学総合研究科・医学類	南方医科大学（広州）	H13.05.11	
		医薬保健学総合研究科・医学類	中国医科大学（瀋陽）	H14.05.07	
		薬学系	河南中医学院（鄭州）	H16.11.15	
		薬学系	瀋陽薬科大学（瀋陽）	H23.03.24	
		がん進展制御研究所	復旦大学上海がん病院（上海）	H22.07.27	
		インドネシア	医薬保健研究域	ハサヌディン大学医学部（マカッサル）	H26.02.12
		韓国	人間社会学域	翰林大学人文学部（春川）	H21.10.28
			人間社会環境研究科	仁荷大学文学部（仁川）	H22.09.30
	理工学域		韓国科学技術院工学部（大田）	H17.03.10	
	理工学域		檀国大学工学部（ソウル）	H18.11.01	
	環日本海域環境研究センター		慶熙大学理学部（ソウル）	H17.12.19	
	医薬保健学総合研究科・医学類		蔚山大学医学部（ソウル）	H20.10.24	
	がん進展制御研究所		韓国科学技術研究院遺伝工学研究所（大田）	H05.04.22	
	がん進展制御研究所		ソウル大学がん研究所（ソウル）	H25.07.10	
	ミャンマー	医薬保健学総合研究科	ヤンゴン第二医科大学（ヤンゴン）	H25.10.23	
	フィリピン	理工学域	フィリピン大学ディリマン校（ケソン）	H11.05.11	
	タイ	理工学域	タマサート大学シリントーン国際工学部（パトゥムターニー）	H18.10.24	
		理工学域	タイ地方道路局（バンコク）	H22.08.23	
	ベトナム	理工学域	トゥイーロイ大学（ハノイ）	H26.10.27	
		医学系	Hospital E 循環器病研究センター（ハノイ）	H23.06.08	
		医薬保健研究域	ベトナム海洋医学研究所（ハイフォン）	H24.05.31	
		医薬保健研究域	ベトナム社会主義共和国資源環境省 ベトナムで米軍が使用の有毒化学物質による被害克服の国家対策委員会（ハノイ）	H25.03.26	
		医薬保健研究域	ハノイ国立小児病院（ハノイ）	H25.04.03	
		台湾（地域）	法学類	国立政治大学法学院（台北）	H17.03.15
		法学類・法学系・人間社会環境研究科	国立成功大学社会科学院法律学系（台南）	H24.07.31	
		国際学類	国立政治大学国際事務学院及び社会科学院（台北）	H27.03.06	
		人間社会環境研究科	国立政治大学国際事務学院及び社会科学院（台北）	H27.03.06	
		理工学域	国立政治大学社会科学院（台北）	H24.03.07	
		理工学域	国立台北科技大学工程学院（台北）	H24.10.05	
		中東	トルコ	薬学系	アンカラ大学薬学部（アンカラ）
	オセアニア	オーストラリア	理工学域	南オーストラリア大学情報工学・環境工学学群（アデレード）	H11.01.20
		ニュージーランド	医薬保健研究域	オークランド工科大学保健環境科学部（オークランド）	H26.03.17
	アフリカ	エジプト	環日本海域環境研究センター	エジプト国立研究センター（カイロ）	H27.04.30
ヨーロッパ	オーストリア	理工学域	ウィーン大学物理学部（ウィーン）	H27.06.07	
		チェコ	理工学域	ブラハ化学工業大学（プラハ）	H15.04.01
		フランス	理工学域	サヴォア大学（シャンベリー）	H12.03.14
		法学系	トゥールーズ第1キャピトル大学法学部（トゥールーズ）	H27.10.15	
		ドイツ	人間社会学域	デュッセルドルフ大学哲学学部（デュッセルドルフ）	H21.07.30
	理工学域		シュトゥットガルト大学（シュトゥットガルト）	H20.03.20	
	オランダ	人間社会学域	ライデン大学人文学部（ライデン）	H25.12.10	
	ノルウェー	国際学類	ノルウェー科学技術大学社会科学テクノロジー管理学部社会学・政治学学科（トロンハイム）	H21.07.28	
	イギリス	人間社会学域	オックスフォード大学ペンブロッックカレッジ（オックスフォード）	H08.12.01	
	ロシア及びNIS諸国	ロシア	理工学域	理論実験物理学研究所（モスクワ）	H09.07.01
理工学域			国立イルクーツク大学（イルクーツク）	H10.03.16	
医薬保健学総合研究科・医学類			国立クラスノヤルスク医科大学（クラスノヤルスク）	H09.06.18	
医薬保健学総合研究科・医学類			国立極東医科大学（ハバロフスク）	H20.06.10	
北アメリカ	アメリカ合衆国	教育学類附属小学校	パーウィック学園初等学校（メイン州サウスパーウィック）	H10.05.29	
		人間社会学域・人間社会環境研究科	プリンストン大学東洋学部（ニュージャージー州プリンストン）	H12.04.28	
		医薬保健学総合研究科・医学類	ハワイ大学ジョンA.バーンズ医学部（ハワイ州ホノルル）	H19.12.03	
		医薬保健学総合研究科・医学類	カリフォルニア大学デービス校医学部（カリフォルニア州デービス）	H19.12.13	
		国際機構	リーハイ大学人文科学部（ペンシルベニア州ベスレヘム）	H27.09.15	

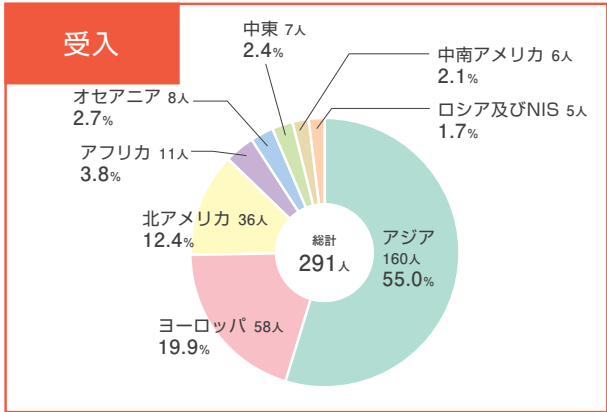
単位：人

平成27年度

研究者等交流実績／派遣及び受入



※グラフの「%（パーセント）」表記は、小数点第2位を四捨五入しているため、合計値が「100%」にならない場合があります。



区分	国・地域名	派遣	受入
アジア	バングラデシュ	1	4
	カンボジア	14	2
	中国	95	77
	インド	6	3
	インドネシア	17	8
	韓国	62	14
	マレーシア	5	0
	モンゴル	21	1
	ミャンマー	13	2
	ネパール	4	1
	フィリピン	31	18
	シンガポール	27	9
	スリランカ	1	0
	タイ	33	2
	ベトナム	34	12
	台湾	73	7
	計	437	160
中東	イラン	2	0
	イスラエル	2	0
	ヨルダン	9	0
	オマーン	2	0
	パレスチナ	0	3
	サウジアラビア	9	0
	トルコ	6	0
	アラブ首長国連邦	1	4
	計	31	7
オセアニア	オーストラリア	21	6
	ニュージーランド	11	2
	パラオ	1	0
	計	33	8
アフリカ	エジプト	1	6
	エチオピア	1	0
	ケニア	0	1
	モロッコ	1	4
	セネガル	1	0
	南アフリカ	2	0
	計	6	11
ヨーロッパ	オーストリア	25	3
	ベルギー	9	1
	キプロス	1	0
	チェコ	17	0

区分	国・地域名	派遣	受入
ヨーロッパ	デンマーク	7	1
	フィンランド	10	4
	フランス	43	9
	ドイツ	75	18
	ギリシャ	5	0
	ハンガリー	5	0
	アイスランド	5	0
	アイルランド	1	0
	イタリア	38	3
	マケドニア	2	0
	モルドバ	1	0
	オランダ	19	3
	ノルウェー	3	0
	ポーランド	2	0
	ポルトガル	12	3
	ルーマニア	1	0
	セルビア	2	0
	スペイン	29	3
	スウェーデン	10	1
	スイス	11	1
	イギリス	56	8
	計	389	58
ロシア及びNIS諸国	アルメニア	2	0
	アルバニア	1	0
	ベラルーシ	1	0
	ジョージア（グルジア）	2	0
	ロシア	8	5
	計	14	5
北アメリカ	カナダ	36	2
	アメリカ合衆国	286	34
	計	322	36
中南アメリカ	アンティグア・バーブーダ	1	0
	アルゼンチン	2	0
	ブラジル	4	1
	チリ	1	0
	グアテマラ	9	0
	ホンジュラス	5	2
	メキシコ	1	0
	ペルー	3	3
	計	26	6
総計		1,258	291

留学実績

外国人留学生受入状況

単位：人

各年5月1日現在

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
学士	57	60	57	59	55	53	64
大学院（修士）	142	175	160	142	136	144	145
大学院（博士）	126	147	178	172	168	171	195
研究生・その他	166	103	89	124	136	165	153
計	491	485	484	497	495	533	557

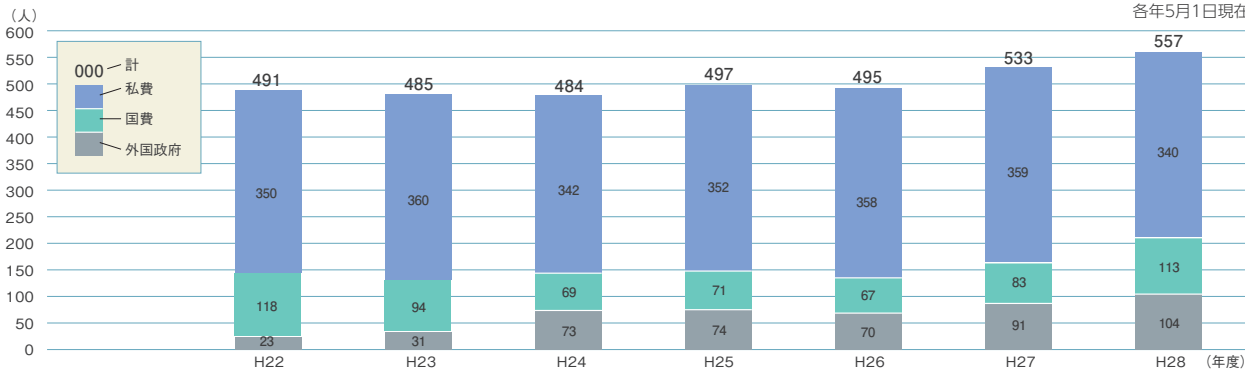
外国人留学生受入状況

単位：人

平成28年5月1日現在

区分	国・地域名	学域学生	大学院（修士課程）	大学院（博士課程）	研究生・その他	計
アジア	バングラデシュ		2	7		9
	中国	33	83	52	49	217
	インド			2	1	3
	インドネシア	1	25	54	14	94
	韓国	6	2	1	9	18
	マレーシア	17	2	3	2	24
	モンゴル			2		2
	ミャンマー			11		11
	ネパール		1			1
	フィリピン			1		1
	タイ	2	8	7	12	29
	ベトナム	3	10	42	10	65
中東	台湾		1	1	7	9
	カンボジア		1			1
オセアニア	スリランカ				1	1
	イラン			1		1
オセアニア	トルコ		1	1	1	3
	オーストラリア		1		3	4
アフリカ	フィジー			1		1
	エジプト			3		3
アフリカ	ケニア		1	1		2
	タンザニア		1			1
ヨーロッパ	ベルギー				3	3
	フィンランド				3	3
	フランス				6	6
	ドイツ				5	5
	アイルランド				2	2
	リトアニア		1			1
	ポーランド				4	4
	ポルトガル				4	4
	スロヴァキア				2	2
	スペイン				6	6
	イギリス				1	1
	イタリア				1	1
	ルーマニア				1	1
ロシア及びNIS諸国	ベラルーシ			1		1
	ジョージア（グルジア）		1			1
	ロシア		2		1	4
	ウクライナ			1		1
北アメリカ	カナダ				3	3
	アメリカ合衆国		1		1	2
中南アメリカ	アルゼンチン	1	1	1		3
	ブラジル			1	1	2
	エルサルバドル	1				1
合計		64	145	195	153	557

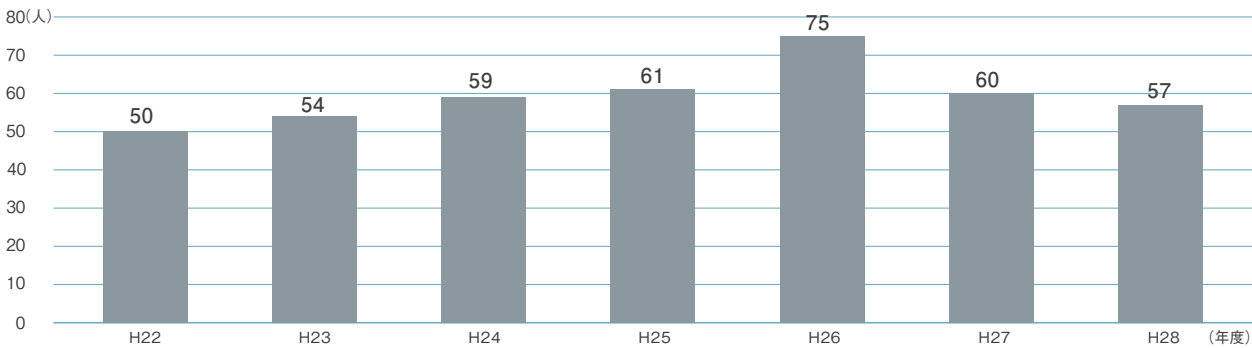
外国人留学生数の推移



■派遣留学生数内訳

区分		国・地域名	大学名	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
アジア	アジア	バングラデシュ	ダッカ大学					1		
			北京語言大学	2	1	2	2		1	
		中国	北京師範大学	2	2	2			2	
			大連大学			1				
			大連理工大學					1		
			東華大学				2		1	
			南京大学				1	1		1
			南開大学					1		
			蘇州大学			2		1		2
			※山東大学							2
		インド	サビットリバイ・フール・ブネー大学	2	2					
			ティラク・マハラシュトラ大学				1			
		インドネシア	スマラン国立大学				1			
			東亜大学	3	1	1	1	3	4	3
		韓国	漢陽大学				2	2	3	
			釜慶大学	6	6	4	4	1		3
			釜山大学	1	1	1			1	
			※仁荷大学文学部			2	7	3	2	
			マレーシア			1	2	2		2
		タイ	チェンマイ大学			1			1	
			チュロンコン大学					1		
			カセサート大学							2
		ベトナム	モンクト王工科大学トンブリ					1		
			ハノイ貿易大学				1	4	1	
		台湾	国立台湾師範大学	1	8	2	4	1	1	1
			国立台湾大学			2				1
			※国立政治大学法学院		2		1	1		
中東	トルコ共和国	チャナッカレ・オンセキズ・マルト大学							1	
	アラブ首長国連邦	シャルジャ大学						1		
オセアニア	オーストラリア	オーストラリア国立大学	1	1				2	2	
		ニューイングランド大学						2	2	
		シドニー工科大学			5	2			1	
ヨーロッパ	ベルギー	ゲント大学	1	1		1	3			1
		カレル大学		2		2	3			1
		フィンランド	アールト大学		1				1	1
	フランス	ユバスキュラ大学	2	2	1	2	3	1	2	
		ジャン・ムーラン・リヨン第三大学								1
		オルレアン大学			3	2	2	2	2	
		ロレーヌ大学		2	2	2	2	1	2	
		トウールーズ大学ジャン・ジョレス校					2	2	2	
	ドイツ	レーゲンスブルク大学	4	1	7	4	7	3	6	
		ジーゲン大学	1		1		2	1		
		※デュッセルドルフ大学哲学学部	2		2	1	3	4	4	
	アイルランド	ダブリンシティ大学	2	2	1	2	2	1	2	
	ノルウェー	※ノルウェー科学技術大学社会科学テクノロジー管理学部社会学・政治学科		1	2	1	2			
	ポーランド	ワルシャワ大学						1		
	スペイン	バルセロナ自治大学	2	2	2	2			2	2
		サラマンカ大学				1			2	
		サンティアゴ・デ・コンポステーラ大学				1				
	イギリス	リバプール・ジョン・モアズ大学	6	6	3					
		セントラル・ランカシャー大学					2	3	1	
		シェフィールド大学	2	2	2	2	2	2	2	
ロシア及びNIS諸国	ロシア	カザン連邦大学				1	1		1	
		極東連邦大学							1	
北アメリカ	カナダ	モントリオール大学						3	3	1
		ウィリアム・アンド・メアリー大学	2	1	1					
		イリノイカレッジ			1		1	2	1	
		ニューヨーク州立大学バッファロー校	2	2		1	2	2	2	
		ニューヨーク州立大学 ニューボルツ校	2	2	2	2	2	2	2	
		タフツ大学	3	1	2		0			2
		ネヴァダ大学リノ校	1	2	1	1	1	1	2	
		ワグナーカレッジ								1
中南アメリカ	メキシコ	モンテレイ工科大学				2				
合計				50	54	59	61	75	60	57

派遣留学生数の推移



各年度実績
(平成28年度は予定)
サマースクール含む
※印は部局間国際交流協定校

科研費等

■科研費

■受入状況

平成27年度実績

研究種目	採択件数	交付金額(千円)
新学術領域研究	35	199,940
基盤研究(S)	2	59,150
基盤研究(A)	10	104,260
基盤研究(B)	111	513,279
基盤研究(C)	380	536,640
挑戦の萌芽研究	106	161,590
若手研究(A)	12	76,960
若手研究(B)	160	232,397
研究活動スタート支援	9	13,520
研究成果公開促進費(学術図書)	2	3,000
特別研究員奨励費	33	33,282
国際共同研究加速基金(国際活動支援班)	1	6,240
合計	861	1,940,257

※特別研究員奨励費(PD、RPDを除く)、学術図書は間接経費が配分されていない。その他の研究種目は、間接経費を含む。

■外部資金

■受入状況

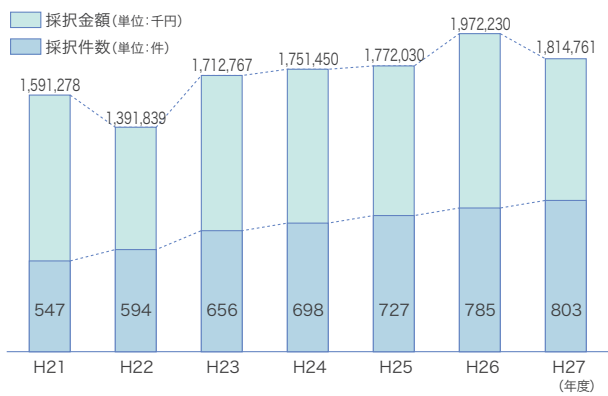
平成27年度実績

区分	件数	受入金額(千円)
共同研究	263	347,067
受託研究	206	1,686,912
寄附金	1,832	1,135,332
合計	2,301	3,169,311

※「受託研究」には、治療薬試験分、病理組織検査等は含まない。

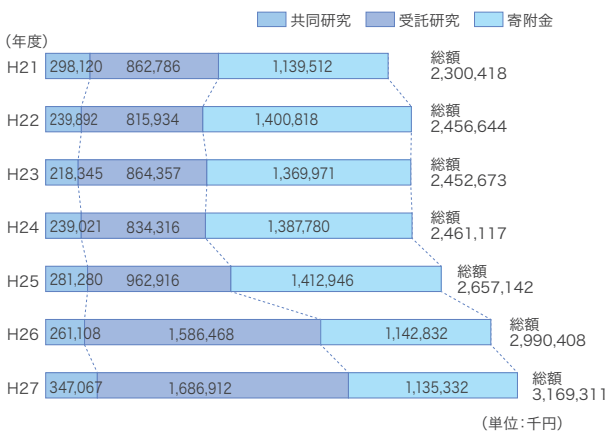
■採択件数・採択金額の推移

各年度 当初内定通知に基づく数値



■受入金額の推移

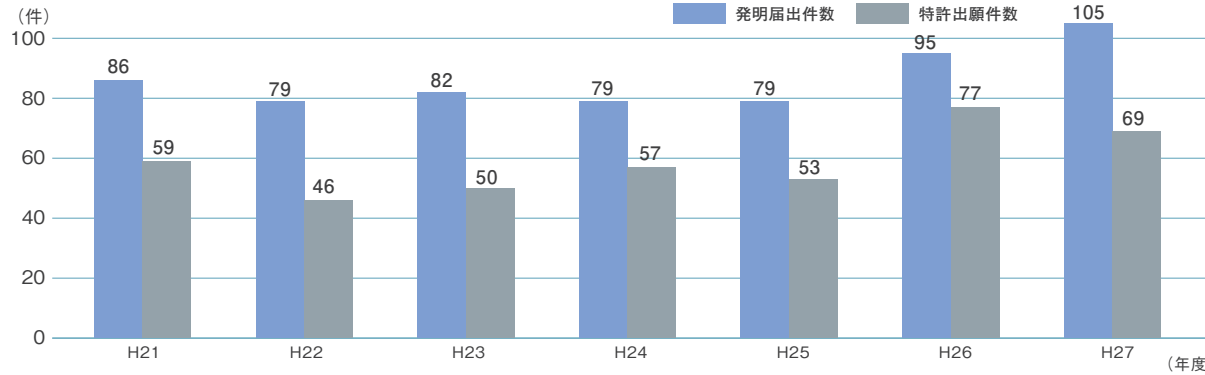
各年度実績



(単位:千円)

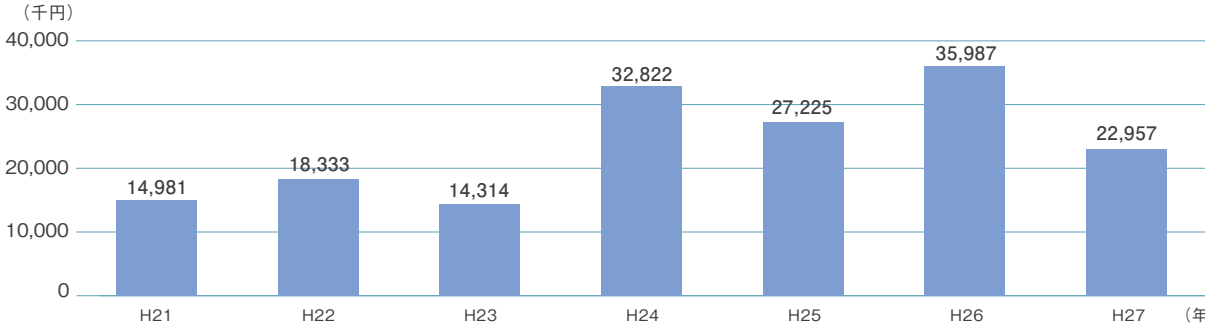
■発明届出・特許出願件数

各年度実績



■特許権実施等収入

各年度実績



附属病院

外来診療日数:243日

■病床数 平成28年5月1日現在

診療科等名	合計
消化器内科	50 ^床
内分泌・代謝内科	20
リウマチ・膠原病内科	15
呼吸器内科	23
循環器内科	40
腎臓内科	15
血液内科	25
神経内科	20
神経科精神科	(神経科) 4
	(精神科) 46
小児科	25
放射線科	2
皮膚科	29
心臓血管外科	26
呼吸器外科	24
胃腸外科	35
肝胆膵・移植外科	35
内分泌・総合外科	9
乳腺科	15
外科診療部門共通病床	13
整形外科	39
脊椎・脊髄外科	20
泌尿器科	38
眼科	43
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	36
産科婦人科	35
麻酔科蘇生科	1
脳神経外科	36
歯科口腔外科	5
周産母子センター	11
がんセンター	15
緩和ケア病床	2
NICU	6
GCU	12
MFICU	3
RI病床	6
ICU	22
無菌治療室	4
共通病床	33
合計	838

■患者数 平成27年度

診療科等名	外来		入院	
	患者延数	1日平均患者数	患者延数	1日平均患者数
消化器内科	25,244 ^人	103.9 ^人	19,925 ^人	54.4 ^人
内分泌・代謝内科	23,227	95.6	6,167	16.8
リウマチ・膠原病内科	13,707	56.4	6,384	17.4
呼吸器内科	14,951	61.5	8,248	22.5
循環器内科	20,510	84.4	13,527	37.0
腎臓内科	10,862	44.7	6,517	17.8
血液内科	9,788	40.3	8,557	23.4
総合診療内科	823	3.4	0	0.0
神経内科	8,040	33.1	7,495	20.5
神経科精神科	20,594	84.7	14,451	39.5
小児科	16,565	68.2	12,872	35.2
子どものこころの診療科	970	4	0	0.0
放射線科	488	2	4	0.0
放射線治療科	8,407	34.6	0	0.0
皮膚科	24,429	100.5	8,393	22.9
漢方医学科	3,726	15.3	2	0.0
心臓血管外科	4,629	19	13,019	35.6
呼吸器外科	4,175	17.2	8,959	24.5
胃腸外科	8,282	34.1	13,341	36.5
肝胆膵・移植外科	4,484	18.5	13,132	35.9
内分泌・総合外科	2,041	8.4	2,146	5.9
乳腺科	10,484	43.1	5,393	14.7
整形外科	16,727	68.8	14,624	40.0
脊椎・脊髄外科	5,662	23.3	6,342	17.3
泌尿器科	22,567	92.9	13,725	37.5
眼科	28,244	116.2	13,633	37.2
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	13,338	54.9	12,552	34.3
産科婦人科	13,060	53.7	19,159	52.3
麻酔科蘇生科	6,532	26.9	0	0.0
脳神経外科	7,487	30.8	11,714	32.0
核医学診療科	1,783	7.3	814	2.2
歯科口腔外科	14,943	61.5	1,887	5.2
がん高度先進治療センター	3,435	14.1	5,265	14.4
疾病予防センター	120	0.5	86	0.2
合計	370,324	1,524.0	268,333	733.2

附属図書館

■施設規模・蔵書数 平成28年5月1日現在

名称	建物面積	閲覧席	蔵書数			
			和書	洋書	和洋書 計	雑誌
中央図書館	10,456 ^{m²}	1,072 ^席	880,916 ^冊	314,115 ^冊	1,195,031 ^冊	16,503 ^種
自然科学系図書館	6,513	691	199,238	208,980	408,218	10,974
医学図書館	3,541	401	134,075	154,350	288,425	8,583
合計	20,510	2,164	1,214,229	677,445	1,891,674	36,060

※医学図書館には保健学類図書館を含む

■サービス状況 平成27年度

総開館日数	862	日	
総開館時間数	9,718	時間	
入館者総数	756,491	人	
貸出冊数	130,631	冊	
文献複写	学内から受付	868	件
	外部から受付	3,931	件
	外部へ依頼	3,545	件
図書館間 相互貸借	学内貸借	1,720	件
	貸出	661	件
	借受	1,279	件

※数値は3館の合計数

■情報検索サービス 平成27年度

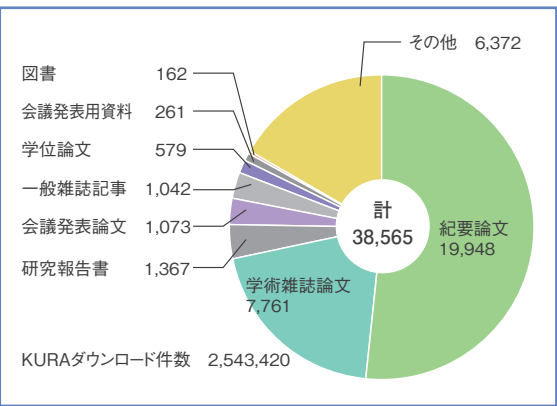
電子ジャーナルパッケージ名	タイトル数	ネットワーク対応データベース
Science Direct	2,244	医学中央雑誌
Springer Link	1,640	聞蔵Ⅱテキスト for Libraries
Wiley Online Library	1,436	CINAHL
メディカルオンライン	1,130	CiNii
Cambridge Journals	339	Econlit
Oxford Journals	259	Evidence Based Medicine Reviews
JSTOR	117	GeoRef
PsycArticles	97	JCR on Web
LWW Fixed 50	50	MAGAZINE PLUS
GeoScienceWorld	47	MathSciNet
ACS	46	SciFinder
ASCE	36	Scopus
その他	181	TKC ローライブラリー・ロースクール
合計	7,622	UpToDate
		Web of Science

■学外利用者数 平成27年度

	学生	研究者	その他	合計
中央図書館	229 ^人	69 ^人	1,470 ^人	1,768 ^人
自然科学系図書館	41	68	468	577
医学図書館	41	18	327	386
合計	311	155	2,265	2,731

※医学図書館には保健学類図書館を含む

■資料種類別 KURA 登録数 平成27年度 単位: 件

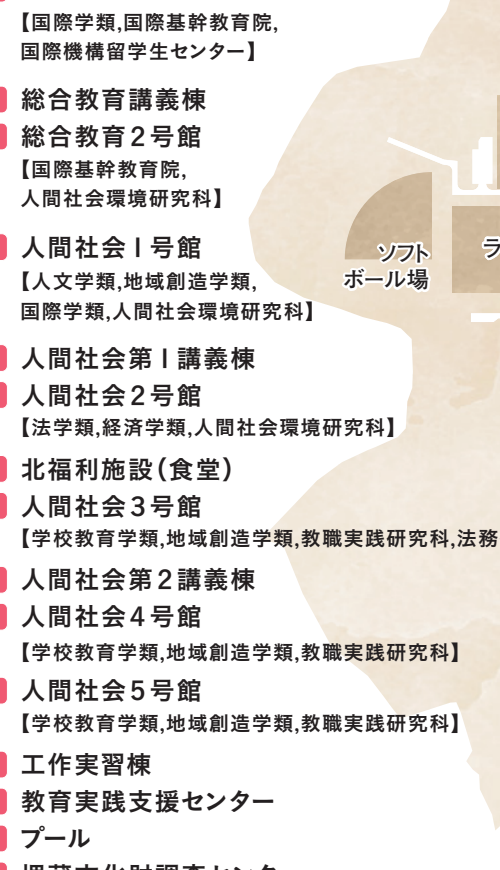


土地・建物及び所在地

キャンパス等	土地（㎡）	建物（㎡）	所在地・部局等の名称
角間キャンパス	2,008,565	246,020	〒920-1192 金沢市角間町 人間社会学域（研究域） 理工学域（研究域） 医薬保健学域（研究域）〔薬学系・創薬科学系〕 大学院人間社会環境研究科 大学院自然科学研究科 大学院医薬保健学総合研究科〔創薬科学専攻・薬学専攻〕 大学院法務研究科 大学院教職実践研究科 国際基幹教育院 養護教諭特別別科 グローバル人材育成推進機構（O－GHRD） 新学術創成研究機構（InFiniti） 先端科学・イノベーション推進機構（O－FSI） 国際機構 がん進展制御研究所 附属図書館（中央図書館・自然科学系図書館） 資料館 地域連携推進センター 学際科学実験センター〔実験動物研究施設 角間分室・アイソトープ理工系研究施設・機器分析研究施設〕 総合メディア基盤センター 環日本海域環境研究センター 環境保全センター 男女共同参画キャリアデザインラボラトリー 保健管理センター 極低温研究室 埋蔵文化財調査センター 技術支援センター 金沢大学学生留学生宿舍「先魁」 国際交流会館 金沢大学創立五十周年記念館「角間の里」 金沢大学本部棟 角間ゲストハウス 大学会館
			<宝町地区> 〒920-8640 金沢市宝町13番1号 医薬保健学域（研究域）〔医学系〕 大学院医薬保健学総合研究科〔医科学専攻・医学専攻〕 大学院先進予防医学研究科 附属図書館（医学図書館） 学際科学実験センター （遺伝子研究施設・実験動物研究施設・アイソトープ総合研究施設） 子どものこころの発達研究センター
宝町・鶴間キャンパス	151,053	177,196	<鶴間地区> 〒920-0942 金沢市小立野5丁目11番80号 医薬保健学域（研究域）〔保健学系〕 大学院医薬保健学総合研究科〔保健学専攻〕
			<宝町地区（附属病院）> 〒920-8641 金沢市宝町13番1号 附属病院
小立野地区	83,342	0	〒920-8667 金沢市小立野2丁目40番20号 工学部跡地

キャンパス等	土地（㎡）	建物（㎡）	所在地・部局等の名称
平和町地区	79,876	22,326	〒921-8105 金沢市平和町1丁目1番15号 附属幼稚園 附属小学校 附属中学校 附属高等学校
東兼六地区	10,517	4,813	〒920-0933 金沢市東兼六町2番10号 附属特別支援学校
辰口地区	262,431	3,401	〒923-1225 能美市松が岡5丁目163 辰口共同研修センター
			〒923-1224 能美市和気町オ24 環日本海域環境研究センター低レベル放射能実験施設
小木地区	26,488	1,442	〒927-0553 石川県鳳珠郡能登町小木 環日本海域環境研究センター臨海実験施設
潟端地区	1,489	627	〒929-0346 石川県河北郡津幡町潟端り53 潟端短艇庫
つつじが浜地区	993	439	〒926-0851 七尾市つつじが浜3番77 七尾ヨット艇庫
その他	-	-	〒920-0913 金沢市西町3番丁16番地 金沢大学サテライト・プラザ
	10,260	5,680	〒921-8036 金沢市弥生1丁目26番5号 北沢寮（男子寮）定員314人
	3,742	2,840	〒921-8031 金沢市野町5丁目8番10号 泉学寮（男子寮）定員168人
	4,194	2,678	〒921-8034 金沢市泉野町2丁目13番1号 白梅寮（女子寮）定員140人
	24,308	22,858	職員宿舍
	-	-	〒103-0022 東京都中央区日本橋室町1丁目9番地12号 共同ビル（室町1丁目）1階102号室 金沢大学東京事務所
合計	2,667,258	490,320	

北地区

- 

A map of Hokkaido, Japan, with 20 numbered locations marked. The locations are distributed across the island, with a higher concentration in the Sapporo and Kushiro regions. The map is in a light beige color with black outlines for the island and its major cities. The numbers are in red boxes with white text.

 - N1 大学会館(食堂・売店・郵便局)
 - N2 中央図書館・資料館
 - N3 総合教育1号館
【国際学類,国際基幹教育院,
国際機構留学生センター】
 - N4 総合教育講義棟
 - N5 総合教育2号館
【国際基幹教育院,
人間社会環境研究科】
 - N6 人間社会1号館
【人文学類,地域創造学類,
国際学類,人間社会環境研究科】
 - N7 人間社会第1講義棟
 - N8 人間社会2号館
【法学類,経済学類,人間社会環境研究科】
 - N9 北福祉施設(食堂)
 - N10 人間社会3号館
【学校教育学類,地域創造学類,教職実践研究科,法務研究科】
 - N11 人間社会第2講義棟
 - N12 人間社会4号館
【学校教育学類,地域創造学類,教職実践研究科】
 - N13 人間社会5号館
【学校教育学類,地域創造学類,教職実践研究科】
 - N14 工作実習棟
 - N15 教育実践支援センター
 - N16 プール
 - N17 埋蔵文化財調査センター
 - N18 北課外活動共用施設
 - N19 体育館
 - N20 エネルギーセンター

中地区

- C1** 本部棟,保健管理センター,
先端科学・イノベーション推進機構
 - C2** 総合メディア基盤センター
 - C3** 中福利施設(食堂・売店)
 - C4** 自然科学5号館
- 【数物科学類,物質化学類】

南地区

- S1 自然科学本館
- S2 自然科学系図書館,南福祉施設(食堂・売店)
- S3 自然科学1号館
【物質化学類,自然システム学類,薬学類,創薬科学類】
- S4 自然科学2号館
【電子情報学類,環境デザイン学類,自然システム学類】
- S5 自然科学3号館
【機械工学類】
- S6 がん進展制御研究所
- S7 環境保全センター
- S9 ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー,ハードラボ1
- S10 ハードラボ2
- S11 環日本海域環境研究センター,ハードラボ3
- S12 ハードラボ4
- S13 技術支援センター
- S14 自然科学大講義棟 さがけ
- S16 学生留学生宿舍「先魁」

- C5 インキュベーション施設
 - C6 新学術創成研究機構、
先端科学・イノベーション推進機構
 - C7 極低温研究室
 - C8 学際科学実験センター
アイソトープ理工系研究施設
 - C9 地域連携推進センター
 - C10 角間ゲストハウス
 - C11 国際交流会館

建物配置図

宝町・鶴間キャンパス

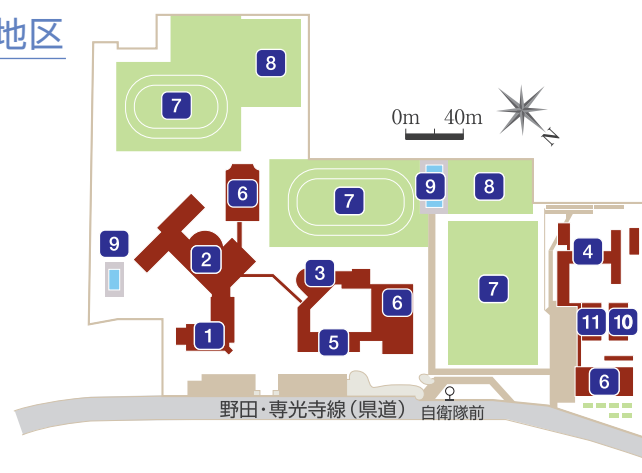
宝町地区

- 01 アネックス棟
- 02 中央診療棟
- 03 外来診療棟, 金大病院CPDセンター
- 04 医学類C棟
- 05 病棟(西病棟/東病棟)
- 06 MRI-CT棟
- 07 看護師宿舎
- 08 北病棟
- 09 十全講堂
- 10 医学類A棟
- 11 医学類B棟
- 12 医学類病理標本庫
- 13 医学図書館
- 14 医学類D棟 (全学共用教育研究棟), 子どものこころの発達研究センター
- 15 ★遺伝子研究施設
- 16 医学類解剖標本庫
- 17 ★実験動物研究施設
- 18 医学類E棟
- 19 医学類教育棟
- 20 医学類F棟
- 21 医学類旧書庫
- 22 医学類G棟
- 23 ★アイソトープ総合研究施設
- 24 医学類福祉施設
- 25 課外活動施設

★学際科学実験センター

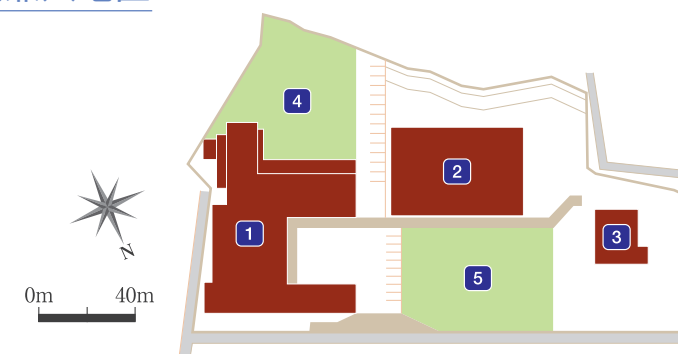


平和町地区



- 1 附属幼稚園
- 2 附属小学校
- 3 附属中学校
- 4 附属高等学校
- 5 附属学校事務
- 6 体育館
- 7 運動場
- 8 テニスコート
- 9 プール
- 10 附属高校創立60周年記念館「有朋館」
- 11 武道場

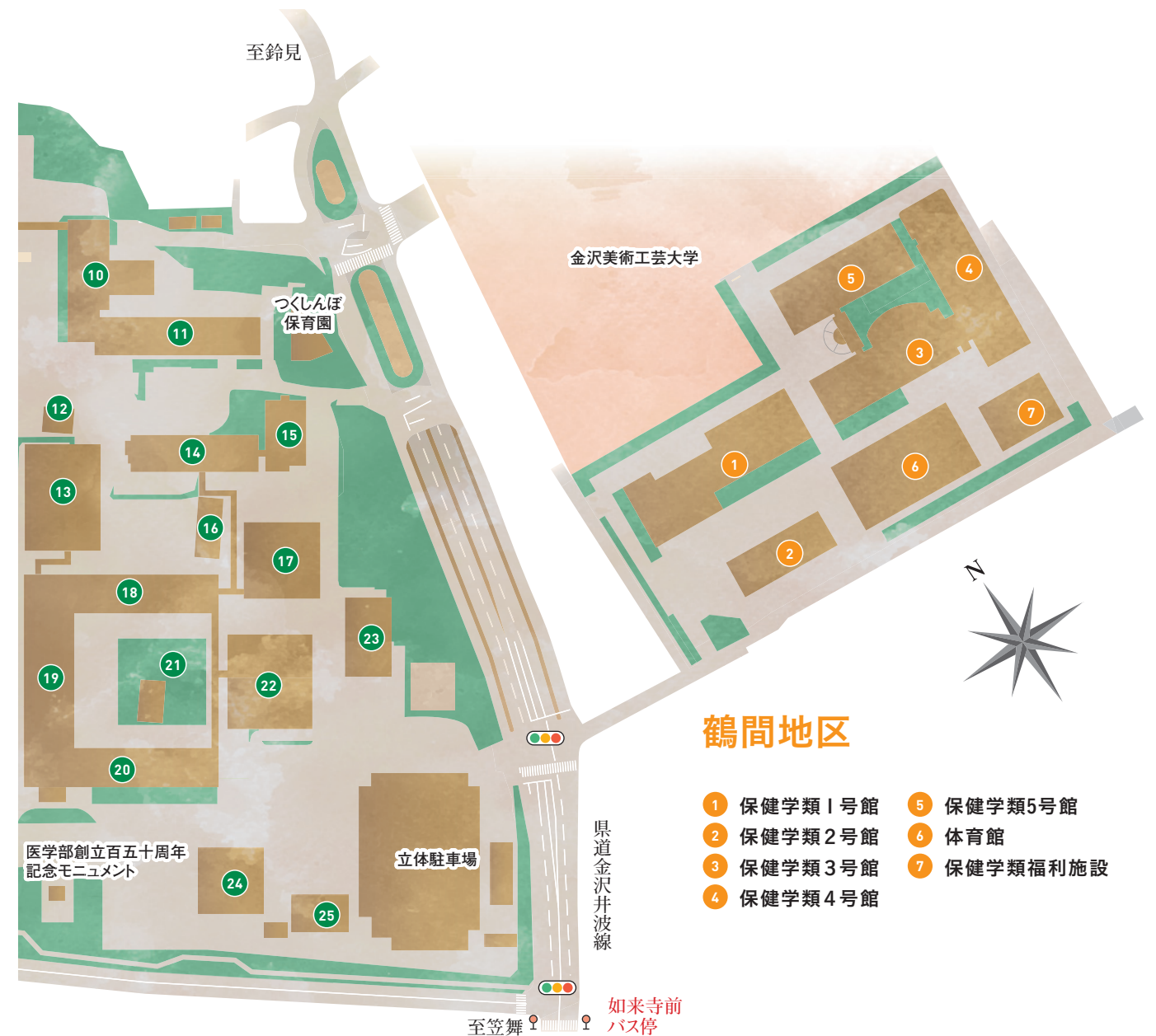
東兼六地区



- 1 附属特別支援学校
- 2 特別支援学校体育館
- 3 すずかけの家(日常生活訓練施設)
- 4 運動能力育成施設
- 5 運動場

鶴間地区

- 1 保健学類1号館
- 2 保健学類2号館
- 3 保健学類3号館
- 4 保健学類4号館
- 5 保健学類5号館
- 6 体育館
- 7 保健学類福祉施設



キャンパス位置図

金沢市内



東京方面から金沢へのアクセス

- 航空機利用
羽田空港→小松空港 所要約1時間
(小松空港→金沢駅は北陸鉄道バスで約1時間)
- JR利用
東京→金沢 新幹線かがやき 所要約2時間30分
新幹線はくたか 所要約3時間

名古屋方面から金沢へのアクセス

- JR利用
名古屋→金沢 新幹線,特急しらさぎ 所要約2時間40分

大阪・京都方面から金沢へのアクセス

- JR利用
大阪→京都→金沢 特急サンダーバード 所要約2時間40分

金沢駅から主要キャンパスへのアクセス (北陸鉄道バス利用の場合)

- 角間キャンパス
<「金沢大学自然研前」,「金沢大学中央」,「金沢大学 (角間)」>まで 所要約35分
金沢駅兼六園口 (東口) ⑥乗場→ 91 93 94 97 「金沢大学 (角間)」行
- 宝町・鶴間キャンパス<「小立野」バス停下車>まで 所要約20分
金沢駅兼六園口 (東口) ⑦乗場→11「東部車庫」行など
金沢駅兼六園口 (東口) ⑥乗場→13「湯谷原・医王山」行など
金沢駅金沢港口 (西口) ⑤乗場→10「東部車庫」行など



金沢大学校歌



あま 天うつなみ けぶらひ
あま 天そそる 白ねの
ほくほう 北方のみやこに学府のありて
さん 燦たる燈をかかげたり

ひと 人は人をつくるため
のろしをあげ
えいち 慧智の時間を磨く
はえ 光榮ある人間をつくらむと

しんふうぶんか 新風文化の扉は開かれ
あたらしの人 世代にあふれ
て 手はつながれ 才能は結ばれ
こぞりてわが学府につどへり
こぞりてわが学府につどへり

「金沢大学校歌」の制定

室生犀星作詞のこの校歌は、金沢大学の看板のひとつです。1959 年（昭和 34 年）の創立 10 周年事業として作られました。当初、「歌詞は職員・学生から懸賞募集し、作曲は専門家に依頼する」という計画でしたが、評議会で異論が出たため、作詞・作曲とも専門家に任せることになりました。同年 4 月 18 日、戸田学長が犀星に作詞を依頼、また犀星からの要請で作曲は信時潔に依頼しました。依頼から一箇月ほどして校歌が大学に届けられました。

http://www.kanazawa-u.ac.jp/university/history_song/



2016年7月発行

【編集】

金沢大学総務部広報室

【所在地】

〒920-1192 金沢市角間町

TEL.076-264-5024 FAX.076-234-4015

<http://www.kanazawa-u.ac.jp/>



2016.7.01